

急がれる高い死亡率の解明と適切な対策

第43回鳥取県健康対策協議会理事会

- 日 時 平成24年5月31日（木） 午後3時～午後5時20分
- 場 所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
- 出席者 39人（役員31人、オブザーバー5人、事務局3人）
オブザーバー：県健康医療局健康政策課
（萬井・山本・下田各課長補佐）
鳥取県保健事業団（丸瀬常務理事、西川課長）
健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長、田中主任

司会：岡田理事

規約第6条により、会長は鳥取県医師会長とし、副会長は鳥取大学医学部長及び鳥取県福祉保健部長をあてることとなっている。会長、副会長よりご挨拶を頂きました。

挨拶（要旨）

〈岡本公男会長（鳥取県医師会長）〉

本日はご多忙の中、ご出席賜りまして誠に有難うございます。

「鳥取県がん対策県民会議」においても取り上げられているが、がん75歳未満年齢調整死亡率は青森県に次いで全国ワースト2位である。何とかして原因を解明すると共に、その対策を進めていくことが重要であり、このことが、県民の健康対策を担う健対協の役割と考える。

また、年々増加傾向にある慢性腎臓病（CKD）の予防対策として、特定健診に併せ血清クレアチニン検査と尿酸検査の項目を追加して頂くよう、健対協としても各医療保険者に対し働きかけてきたところ、医師会と市町村国保との折衝により、血清クレアチニン検査と尿酸検査は無料で行うこととし、平成24年度の特定健診において大半の市町村国保で実施される。

医療機器は年々進歩しており、鳥取県保健事業団の胃部、胸部の検診車に平成24年度よりデジタル装置が導入され、それに伴う読影体制整備は鳥取県保健事業団の助成を頂きながら行った。

本日の主な議題は平成23年度事業報告、23年度決算、平成24年度事業計画（案）、24年度予算（案）についてです。慎重なご審議をお願いしたい。

〈林 由紀子副会長〉

岡本会長、役員の皆様には、県民の健康を守るため、鳥取県健康対策協議会として大変熱心に調査研究をして頂くとともに、各種検診の精度充実についてもご尽力を頂くなど、大きな役割を果たして頂いている。

昨年40周年を迎えられたが、長きにわたってこの鳥取県健康対策協議会の取組が続いているということは、県にとりましても大変心強いものである。改めまして皆様に心より感謝申し上げます。

平成24年度は保健医療に関わる三つの計画の最終年度となり、平成25年度以降5年間の次期計画を策定する年に当たっている。三つの計画とは、保健医療計画、健康づくり文化創造プラン、がん対策推進計画で、この三つの計画は相互に関連し

ており、それぞれが重要な計画であるので、検討委員会が設置され、医師会、大学の先生方に主要なメンバーとして入って頂くこととなる。

今後の予定は、11月頃までに次期計画素案を策定し、年明けからはパブリックコメントを実施としているので、今後、皆様のご尽力、ご協力をお願いしたい。

また、がん対策については、「がん対策推進条例」が施行された以降、健対協の皆様には大変ご尽力頂き、県としても積極的な取り組みを進めて来ることが出来た。今年度も、がん死亡率ワースト2位を受けて、がん死亡率減少対策を検討する専門部会を設置することとしている他、特定健診とがん検診を同時受診できる体制整備、レディース検診の推進等の取り組みを行うこととしている。

福祉保健行政の一層の発展のため、今後も皆さまと一緒に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

理事の選任

別記のとおり理事の選任が承認された。任期は、平成26年3月31日までである。

理事43名に対し30名の出席があり、規約11条第4項により、過半数以上が出席のため、理事会の開催が成立。

議事進行：議長の岡本会長

議事

1. 平成23年度事業報告

各専門委員会の活動状況について、各専門委員長より資料をもとに説明、報告があった。(各種検診の平成22年度実績、平成23年度実績見込み、平成24年度事業計画は別表のとおり)(別記1)

(1) がん登録対策専門委員会：岸本委員長報告

厚生労働省がん登録研究班のがん罹患の標準

集計方式に従い平成20年の罹患集計を行った結果、罹患総数4,547件で、人口10万対年齢調整罹患率(標準人口は60年日本人モデル人口)は、男499.2、女339.7であった。

届出精度としてのDCNは、平成20年(2008年)は14.1%で、精度が年々向上している。この集計結果を取りまとめた「鳥取県がん登録事業報告書」を作成した。

平成23年がん登録届出件数5,544件で、がん拠点病院を中心に主要病院の登録精度の充実が図られている。

全国がん登録協議会総会研究会が千葉県で開催され、メインテーマは「がん登録のマイルストーン」であった。

国が推奨する地域がん登録の標準化データベースシステム(DBS)は全国で26府県が導入されていることも受けて、鳥取県においても、平成23年度に「鳥取県がん登録あり方ワーキンググループ」を立ち上げ、今後、地域がん登録の標準化の導入及び本県のがん登録事業に係る課題整理等の検討を行う。今年度は、ワーキンググループは国立がん研究センター、大阪府立成人病センターの視察を行った。

(2) 胃がん対策専門委員会：吉中委員長報告

平成23年度は、胃がん検診対象者数187,601人、受診者数47,700人(平成24年3月末調べ)の見込みである。

平成22年度受診率23.0%で全国平均9.6%に比べ非常に高い。内視鏡検診実施割合は62.9%であった。

確定胃がん138例で、がん発見率は0.32%(全国平均0.16%)で、X線検査がん発見率0.14%に対し、内視鏡検査がん発見率は0.43%と約3倍高い。また、早期がん率もX線検査77.3%に対し、内視鏡検査80.2%と高い。

X線要精検率の指標許容値11%以下とされているが、個別医療機関のX線検査の要精検率は12.3%で、特に依然として中部が27.8%と非常に高い

ことが課題である。撮影手技のスキルアップ、読影体制の改善を図る必要がある。

第42回日本消化器がん検診学会中国四国地方会・中国四国地方胃集検の会が平成23年12月10日、11日、宇部市において開催された。また、従事者講習会及び症例研究会を西部で開催した。

平成24年2月28日、国立がんセンターで「全国がん検診精度管理指導者講習会」が開催され、国・都道府県・市町村・検診機関各々のあり方が示された。

(3)子宮がん対策専門委員会：原田委員長に代わって紀川理事報告

平成23年度は対象者数138,891人、受診者数29,814人の見込みである。国は平成21年度から始めた「女性特有のがん検診推進事業」を5年間行う予定である。特定年齢を対象に無料券を配布したことにより初回受診者が増加し、受診勧奨効果が上がっている。

平成22年度子宮頸部がん検診は、対象者数は139,232人、受診者数は28,453人、受診率20.4%で、40歳未満の要精検率が高く、30歳代のがんは平成21年度に比べ9人も多く発見され、陽性率も高かった。

また、「サーバリックス」に加えて新規ワクチンである「ガーダシル」が子宮頸がん予防ワクチンとして公費助成の対象となった。

従事者講習会及び症例研究会を中部で開催した。

(4)肺がん対策専門委員会：中村委員長報告

平成23年度は対象者数187,601人のうち、受診者数は50,531人で、受診率は26.9%の予定で、前年度に比べ2.7ポイント増加する見込みである。特に米子市の医療機関検診が新規に加わり、米子市のみで約3,700人増加したことが大きく関与している。

平成22年度受診率は24.2%で、近年の減少傾向に歯止めがかかっていない。国の指標許容値は3

%以下とされているが、本県の要精検率は4.41%と高い。その中で、精検受診率は88.2%と高値で、がん発見率は0.11%で全国に比べ約2倍の肺がんが発見されている。これは高い要精検率、精検受診率から多数のがんが発見されていることであり、高い精度の検診が行われていると言えるが、要精検率に関しては地区毎に差があり、特に中部地区が高いことから、精度管理については今後も検証する必要がある。

昭和62年から平成22年までの24年間における発見肺がん984人の予後調査の結果、臨床病期ⅠA期の5生率は73.7%、10生率は51.9%と良好な結果である。

鳥取県保健事業団において、東部、中部地区の胸部の検診車に平成24年度よりデジタル装置を導入することとなり、これに伴い、読影体制の見直しの検討を行い、「鳥取県肺がん集団検診実施指針」及び「鳥取県肺がん医療機関検診実施指針」、「鳥取県各地区肺がん検診読影委員会運営要領」の改正が行われ、平成24年度から適用することとなった。

従事者講習会及び症例検討会を中部で開催した。

(5)乳がん対策専門委員会：工藤委員長報告

平成23年度乳がん検診実績見込みは対象者数116,105人、受診者数21,783人の見込みで、増加傾向にある。平成22年度の対象者数は118,676人で、受診者数は17,726人、14.9%であった。なお、2年合わせた平成22年度の最終受診率は結果的に30.1%で、全国平均約20%に比べ良好な成績である。

要精検率8.11%、精検受診率92.3%、がん発見率0.39%、陽性反応適中度5.28%で、マンモグラフィ併用検診が始まった平成17年度からみると横ばいあるいは微増となっており、よい傾向といえる。確定調査の結果、確定乳がん64例中12例が非浸潤がんであった。手術施行例61例中温存術が43例、切除術が18例となっており比較的早期の乳が

んが併用検診で発見されているものと思われ、有用性の高さを示している。

鳥取県マンモグラフィ読影講習会が、平成23年10月29日（土）～30日（日）、鳥取県健康会館において開催された。新規受講者合格率55.6%であった。

従事者講習会及び症例検討会を中部で開催した。各地区でも症例検討会を開催した。

（6）大腸がん対策専門委員会：岡田理事報告

平成23年度は対象者数187,601人、受診者数54,800人の見込みである。

平成22年度は対象者数188,186人のうち、受診者数49,495人、受診率26.3%で、平成20年度以降横ばいに推移している。要精検率7.6%、精検受診率75.3%、がん発見率0.27%であった。発見がんと患者確定調査結果は、確定癌132例のうち早期癌率61.4%であった。また、発見癌のうち約4割に内視鏡治療が行われた。また、逐年受診発見進行がんは16例であった。

鳥取県では受診率向上を目指して平成18年度から全市町村で1日2個法を導入してきたが、導入前後の評価項目について比較検討したところ、要精検率、がん発見率などに差は認められなかったが、受診率の向上には結びついていなかった。国の指針においても免疫便潜血検査2日法で行うと示され、平成23年度の「がん検診推進事業」においても免疫便潜血検査2日法のみを補助対象とすることとなった。協議の結果、手引きを「免疫便潜血検査を用い、2日法で行う」と改正し、平成24年度から適用することとなった。

各地区注腸読影指導会は回数、読影件数は各地区とも年々減少しているが、西部は未だに注腸が多く行われている。

従事者講習会を東部で開催し、各地区でも講習会等を開催した。

（7）肝臓がん対策専門委員会：川崎委員長報告

①平成22年度は、健康増進事業における肝炎ウイ

ルス検査が14市町村で実施され、受診者数は2,476人で受診率は1.4%であった。受診者数におけるHBs抗原陽性率は2.2%、HCV抗体陽性率は0.8%であった。精検の結果、肝臓がん・肝臓がん疑いは0人であった。

②平成7年度から平成22年度の16年間を集計すると、平成7～9年度の検診時において市町村から報告があった対象者数192,315人に対し、受診者総数は116,669人、推計受診率は60.7%であり、そのうちHBs抗原陽性者は2,846人（2.44%）、HCV抗体陽性者は3,562人（3.05%）であった。

③検診により発見されたウイルス陽性者に対しての定期検査からは、肝臓がんと診断された人は、B型肝炎ウイルス陽性者が4人（受診者数の0.6%）、C型肝炎ウイルス陽性者が13人（受診者数の2.9%）であった。

④平成7～22年度肝臓がん検診発見がん患者の追跡調査を行った結果、確定がんが23例で生存者は2例であった。また、平成10～21年度定期検査確定がんが98例で、生存者は38例であった。このデータから、フォローアップが非常に大事であることが分かる。

⑤従事者講習会及び症例研究会を中部で開催した。

⑥鳥取県肝疾患診療連携拠点病院として、鳥取大学医学部附属病院が再び選定された。また、鳥取県肝炎治療特別促進事業（肝炎インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療費助成制度）実施要綱の一部改正を行い、3剤併用療法（ペグインターフェロン、リバビリン及びテラプレビル）を新たに助成対象とした。

この他に、肝炎医療従事者研修会の開催、肝炎ウイルス検査で陽性となった者や肝炎患者等へ、肝炎に関する正しい知識を普及し、早期に適切な治療に繋げるために、「鳥取県肝炎ハンドブック」が作成された。

(8) 若年者心臓検診対策専門委員会：坂本委員長
報告

①平成23年度心電図検診は22,094人が受診し、そのうち、正常範囲が21,480人、要精検者数614人で、要精検率は2.8%で前年度より少し増加した。前年度までは、要精検率に地区毎にばらつきがあったが、格差が見られなくなった。

②心臓精密検査結果

県教育委員会及び鳥取県健康対策協議会へ報告のあった集計では、定期健康診査受診者数66,329人のうち精密検査対象者数は1,499人（うち新規544人）で、精検受診率は91.9%で全国に比べると高い。精密検査の結果、要医療21人、要観察857人、管理不要238人、異常なし261人であった。診断結果は心室性期外収縮175人、房室ブロック28人、右脚ブロック66人、QT延長67人、WPW症候群60人、心室（房）中隔欠損症195人、川崎病145人などであった。

③第44回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会総会が名称変更後初めて福井県医師会主催のもと開催された。

ワークショップ1では「小児メタボと今後の学校検診」と題して、小児メタボ診断データ蓄積の必要性、その予防のため教室・研修会等の開催、個別指導の支援体制、ワークショップ2では「若年者の突然死」について事例の検討、AED、BLSの普及教育への取組み等について活発な議論が行われた。

④心臓検診従事者講習会を中部で開催した。

(9) 母子保健対策専門委員会：神崎委員長に代わって笠木理事が報告

①鳥取県と全国を比較した母子保健指標の推移によると、平成22年度は乳児死亡24名で、乳児死亡率（出生千対）は5.0で全国ワーストであった。増加した原因が一時的なものなのか特別な要因があるのかを単年結果なのでまだ判断はできないが、今後も注意して経過観察していく必要がある。

②国においてHTLV-1特命チームが設置され、本県でも23年1月より妊婦健診に検査が追加となった。産婦人科医療機関に対して行った調査では、過去2年間でHTLV-1陽性者1件、過去2年間以前の検査の結果、母子手帳へ記載があったのは9件あった。

③平成23年4月から全県でタンデムマス法による新生児マス・スクリーニングが開始され、検査実施人数4,787名に対して要精密検査は5名、うち2名が疾患であった。

④鳥取県乳幼児健康診査マニュアル（平成19年度版）の改正について、現在小委員会において概要版のたたき台を作成している。平成24年度中に概要版を完成させる予定である。

(10) 疾病構造の地域特性対策専門委員会：岡田委員長報告

平成23年度は以下について調査を行った。報告集は現在、印刷中である。

①「鳥取県における透析患者の実態調査と腎移植の推進に関する研究」

県内における透析患者が年々増加しており、高齢化と長期生存によりその管理が問題となっている。アンケート調査から、地区で腎臓内科医の偏在があり、それにより透析治療に偏りが出来ていること、透析、腎移植に関する療説説明が不十分ではないのかという指摘があった。

②「腹腔鏡下幽門輪温存胃切除術（LAPPG）と腹腔鏡下迷走神経幽門輪温存胃切除術（LAVNPPG）の患者QOLに及ぼす影響についてのretrospectiveな研究」

迷走神経腹腔枝の温存は食後の食物停滞感を軽減したが、残胃の食物残渣軽減には至っていなかった。

③「鳥取県内の非アルコール性脂肪性肝疾患患者における血清M30」

近年肥満や糖尿病の増加とともに、鳥取県内においても非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）が増加している。今回、県内の医

療機関においてNAFLDと診断された患者（199例）を対象にM30を測定した結果、NAFLD症例の40%でM30が300U/L以上であり、NASHの可能性が高いことが明らかとなった。

- ④「鳥取県におけるがん罹患・死亡の地域特性に関する疫学的研究～地域がん登録データを活用した県内4市の胃がん検診の評価～」

胃内視鏡検診の有効性の傍証を得ることを目的に4市における胃がん罹患患者を対象に各種検診別の生存率による評価を実施した。胃内視鏡検診は未受診に対して統計的に有意に高い生存率と低い死亡ハザード比が認められ、また、X線検診に対しても有意ではないがより高い生存率と低い死亡ハザード比の傾向が見られた。これらの結果は、死亡率減少効果が証明された胃X線検査と同程度か、より有効な結果を得たので、胃内視鏡検診の有効性の傍証を示唆している。

- ⑤「80歳以上高齢者肺癌における併発症を考慮した適切な術式選択と術後QOLの解析」

年々増加している高齢者の肺癌患者に対し、低侵襲手術式の選択と、低肺機能患者に対する術前の補助療法により術後QOLの解析が行われた。今回は、健康プロファイル型尺度で評価を行った結果、低侵襲手術の効果も加わり、痛みは改善し、活力や心の健康が保たれていることが示された。

- ⑥母子保健調査研究：鳥取県におけるタンデムマススクリーニングとフォロー・アップ体制を行っている。

- (11)公衆衛生活動対策専門委員会：武田委員長に代わって魚谷理事が報告

- ①健康教育事業

「健康フォーラム」を平成23年10月22日に鳥取市で開催し、「生活習慣病と放射線健康障害—予防医学の立場から—」と題して、鳥取大学学長 能勢隆之先生の講演と「運動による生活習慣病予防効果と日常生活でできる有効な運動

について」と題して、鳥取大学医学部社会医学講座病態運動学分野 准教授 加藤敏明先生の講演を行い、聴講者は278名であった。

この他に、日本海新聞に「保健の窓」、「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を掲載、健康会館を利用した毎月1回開催の「鳥取県医師会公開健康講座」を実施、うち6回を生活習慣病対策セミナーについて実施した。東、中、西部においても生活習慣病対策セミナーを計6回実施した。

- ②地域保健対策

平成20年度から行った「学校検尿における2型糖尿病発生頻度およびフォローアップシステムの研究」は、平成23年度をもって終了。

- ③生活習慣病対策事業

各地区医師会においても、教育講演会、座談会を開催している。東部では東部医師会健康スポーツ講演会を行い、中部医師会では「住民健康フォーラム」を行い、西部では健康教育講演、一般公開健康講座等を開催している。また、鳥取県健康会館において、面談による健康相談を毎月第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科が担当して行っており、44件の相談があった。

- (12)生活習慣病対策専門委員会：富長委員長報告

平成22年度特定健診実施状況は、被用者保険と市町村国保の合計では受診率33.2%で、保険者ごとの受診率は、70%以上の高いグループと低いグループとの2極化の傾向が見られた。

また、特定保健指導実施状況は、被用者保険と市町村国保の合計では、動機付け支援実施率17.3%、積極的支援実施率6.6%、両者を合わせた実施率は13.0%で、前年度より2.1ポイント増加した。

市町村国保における特定健診有所見状況は、メタボリックシンドローム該当者は男女合わせて14.6%、予備軍該当者は男女合わせて11.3%で前年度と同様の結果であった。健診が開始されて3

年経過するが、メタボリックシンドローム該当率の減少は見られない。

慢性腎臓病（CKD）特別対策事業を推進するに当たり、特定健診に併せ血清クレアチニン検査と尿酸検査の項目を追加して頂くよう、各医療保険者に対し働きかけてきた。平成24年度実施に当たっては、大半の市町村国保の特定健診において実施されるようだ。

特定健診従事者講習会を東部で開催した。

(13) 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会：

藤井委員長報告

地域医療を担う医師の確保として、鳥取県の奨学金制度（医師）があり、利用者は平成23年7月現在119名で、順次、臨床現場での勤務を始めている。また、今後も地域医療を担う医師のキャリア形成支援など医師確保対策を総合的に推進するため、平成24年度には鳥取県地域医療支援センターの設置を予定している。

平成20年4月に計画された鳥取県の保健医療計画、がん対策推進計画、健康づくり文化創造プランについては、5年ごとに見直すこととなっており、平成24年度に具体的な計画案を策定する予定である。

能勢理事から、鳥取大学医学部としては県に対し、早急に鳥取県地域医療支援センターをして頂きたいこと、また、県全体の若手医師の派遣については、出身大学の垣根を越えて、県内全体の医療機関を支援出来るよう体制を整えて頂くことをお願いしたいという話があった。

(14) 鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会：岡本会長報告（別記2）

平成23年度の総合部会は平成23年9月8日、平成24年3月15日の2回開催した。

この会では各部長、専門委員長及びオブザーバーとして各部会の保健師が出席し、特定健診、がん検診、がん登録事業等について、鳥取県健康

政策課の資料説明にもとづいて各部会を横断的に問題点について討議を行った。報告内容は別添資料のとおり。

2. 平成23年度決算書について、岩垣係長が説明し、承認された。（別記3、4）

県支出金、鳥取県保健事業団支出金、市町村等委託金、その他委託金については、事業の増減によりそれぞれ補正を行った。よって、収入合計額60,460,534円に対し、支出合計額は57,957,637円、収支差引額は2,502,897円となり、平成24年度に繰り越した。

3. 平成23年度表彰基金決算書、特別事業積立金について、岩垣係長が説明し、承認された。（別記5、6）

「表彰基金」は、昭和58年9月、健対協が保健文化賞を受賞した時の副賞の賞金を基金として、それ以降、毎年の鳥取県健康対策協議会会長表彰等で支出を行っている。本年3月末現在の基金総額は415,938円である。

「特別事業積立金」は、定期預金積立金4,040,207円。また、普通預金から、40周年記念事業諸経費307,465円支出して、収支差引残額1,741,530円となり、平成24年度へ繰り越した。

4. 監査報告

新田監事より、5月24日監査した結果について適正であった旨の報告があった。（別記7）

5. 専門委員会の構成（案）及び専門委員会委員長及び委員の委嘱、鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会委員について（別記8、9、10、11、12）

岡田理事が説明され、承認された。任期は、平成26年3月31日までの2年間である。

6. 平成24年度事業計画（案）について

各専門委員長より本年度の事業計画について、

それぞれ説明され了承された。(別記13)

(1)がん登録対策専門委員会：岸本委員長説明

平成21年標準集計。罹患集計の結果は、医師会報、事業報告、ホームページとして公表する。登録精度の向上のための届出勧奨を行う。また、引き続き、補充届出票による遡り調査と各種検診発見がんの未登録分の登録を行う。

標準化DBSシステム導入に向けて、今後の対応について検討を行う。この導入に伴う、データ移行整理作業に係る人件費が県の委託事業として予算化され、平成24年度健対協予算に組み入れられている。

第21回地域がん登録全国協議会総会研究会（高知）参加。

(2)胃がん対策専門委員会：吉中委員長説明

平成24年度は受診者数約52,800人で、受診率約28%の予定である。国保ドック検診においても市町村検診に準じた精度管理が行われておれば、健対協のデータに計上出来ることが昨年度の委員会を確認されたので、受診率が若干増加すると見込まれる。

また、平成24年度より3地区全てにおいて鳥取県保健事業団の集団検診はデジタル化され、読影体制がフィルム読影から画像ビューアー読影に移行した。これに伴い、「鳥取県胃がん検診実施に係る手引き」が一部改正され、平成24年度から適用することとなった。

従事者講習会及び症例検討会開催。

(3)子宮がん対策専門委員会：原田委員長に代わって紀川理事説明

平成24年度は約33,300人の受診予定である。

子宮がん検診一次検査医療機関と精密検査医療機関登録の更新手続きをそれぞれ行った。

若年者の受診率向上対策について検討を行う。

子宮がん検診従事者講習会と症例検討会を東部で開催予定。

(4)肺がん対策専門委員会：中村委員長説明

平成24年度の受診者数は約55,600人の見込みで、増加傾向にあり、南部町で新たに医療機関検診が始められる予定である。

重点計画としては、受診率の向上のために引き続き市町村へ働きかけと、医療機関検診の推進を強化する。また、平成24年度よりデジタル撮影装置が導入されたことにより、検診の運用状況を検証し、問題点の把握に努め、改善策を考える。そして、車検診と医療機関検診を比較解析して、肺がん検診の精度や効率性について検討を行う。

従事者講習会及び症例検討会を東部で開催予定。

(5)乳がん対策専門委員会：工藤委員長説明

平成24年度は約24,000人の受診予定である。

車検診において、視触診医の確保が困難な状況であるが、市町村からも国の指針において併用検診とされているので現状の検診方式を望む声もあり、鳥取大学医学部及び各病院に対し視触診医の協力体制要請を行い、現状のまま、併用検診体制を継続する。

集団検診の質的向上として高危険群の受診勧奨、検診の機会を増やすための体制整備に努める。また、30歳代の自己触診の啓発法を模索する。

従事者講習会及び全県症例検討会を西部で開催予定。また、各地区症例検討会も開催予定。

(6)大腸がん対策専門委員会：岡田委員長説明

平成24年度は約59,800人の受診予定である。

国は、平成22年度本県「大腸がん検診特別推進事業」を参考に事業を拡大し、平成24年度も継続される予定である。

平成23年度に手引きを1日2個法の併用から2日法への改正による問題点の有無など含め実施状況を確認する。また、「鳥取県大腸がん注腸X線検査医療機関登録」については登録制度の見直しを検討中であり、注腸X線検査の実施状況、全大

腸内視鏡検査を第一選択としたときの検査受け入れ体制の評価を行う。

各地区読影委員会で定期的な読影指導会及び読影講習会を開催する。また、従事者講習会及び症例研究会も中部で開催予定。

(7) 肝臓がん対策専門委員会：川崎委員長説明

平成24年度は国庫事業の肝炎ウイルス検査（14市町村実施）9,110人、市町村単独事業（6町実施）605人の実施予定である。

鳥取県としては、継続してウイルス陽性者のフォローアップ事業の推進。発見肝臓がんの確定調査を行う。

従事者講習会及び症例研究会を西部で開催予定。

(8) 若年者心臓検診対策専門委員会：坂本委員長説明

心電図判読事業及び心臓精密検査の評価、検討を行う。

心臓検診従事者講習会を学校医研修会と同日に中部で開催する予定。

第45回若年者心疾患・生活習慣病対策協議会が、平成25年1月27日、徳島市で開催されるので参加する。

(9) 母子保健対策専門委員会：神崎委員長に代わって笠木理事説明

母子保健に関するデータの効果的・効率的な集計・評価・分析のあり方を検討する。

公費負担による妊婦健診、乳幼児健診受診率100%を目指し、更なる体制整備を図る。また、「鳥取県乳幼児健康診査マニュアル（平成24年度版）」概要版を暫定配布する予定である。

昨年度から開始されたタンデムマス法による新生児マス・スクリーニングによる対象疾患の検出率や精密検査体制を確認して円滑な実施を検討する。

(10) 疾病構造の地域特性対策専門委員会：岡田委員長説明

平成24年度は前年度に引き続き、以下のとおり調査を行う。

【疾病構造の地域特性対策調査研究】

① 「鳥取県における透析患者の実態調査と腎移植の推進に関する研究」

引き続き、透析患者の増加と高齢化についての問題点を検討する。

② 「高齢者胃癌に対する手術治療～鳥取県中核病院へのアンケート調査と鳥取大学医学部の取り組み～」

80歳以上の超高齢者における胃癌手術治療について、県内中核病院へのアンケート調査を行い、検討を行う。

③ 「鳥取県内での非アルコール性脂肪性肝疾患患者の現状」

非アルコール性脂肪性肝疾患患者に対してM30を測定し、脂肪肝炎患者の頻度およびM30の経過から進行の程度を検討する。

④ 「鳥取県におけるがん罹患・死亡の地域特性に関する疫学的研究」

平成21年度事業において、鳥取県のがん罹患・死亡の特徴を明らかにするための記述的疫学研究を実施したが、近年のがん罹患・死亡の推移は変化が激しいため平成24年度においても改めて実施する。

⑤ 「呼吸器外科領域におけるロボット手術の有用性に関する検討」

鳥取大学医学部附属病院では手術支援ロボットda Vinci Sを導入し、呼吸器外科領域において、現在28例の手術に成功しており、全国でもトップレベルである。ロボット手術と従来の胸腔鏡手術と比較しながら利点、欠点を明らかにしていく。

【母子保健調査研究】

タンデムマス法による新生児マス・スクリーニング法によって見出される新しい代謝異常症の発生頻度・異常遺伝子の解析を行う。鳥取県のダウ

ン症に伴う心奇形とその予後を評価する。

(11) 公衆衛生活動対策専門委員会：魚谷委員長説明

健康フォーラムは、平成24年9月、中部にて開催する予定。日本海新聞に「保健の窓」、「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」掲載続行予定。健康相談も継続実施。

毎月1回、鳥取県医師会公開健康講座を継続実施。会場は鳥取県健康会館のほか、倉吉市、米子市内で1回ずつ開催する予定。なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については平成24年度も継続して行い、年12回の開催で、鳥取県医師会公開健康講座のうち6回を生活習慣病セミナーにあて、3地区においても2回ずつ同様のセミナーを実施して頂く予定。

各地区の健康教育活動、鳥取県医師会で行っている健康相談も継続実施。

地域保健対策の新しいテーマについては、現在検討中で、早急に決めることとしている。

(12) 生活習慣病対策専門委員会：富長委員長説明

委員会の開催2回。平成23年度特定健診結果の分析および評価を行う。また、保健指導実施状況を把握し、その効果について評価を行う。

一般県民向けセミナーおよびかかりつけ医対象の研修会の企画等、慢性腎臓病対策事業について検討を加える。また、特定健診項目にクレアチニン、尿酸を導入して頂くよう、未導入の保険者に引き続き働きかける。

従事者講習会を西部で開催予定。

(13) 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会：

藤井委員長説明

地域医療の充実について、特に地域医療を担う医師の養成体制の検討。また、鳥取県の健康、医療に関わる各種の計画について、骨子案を作成し、各種の検討会議で内容を検討し、平成25年4月に新計画を策定する予定である。改正案の概要がまとまった段階で、本委員会を開催し、ご意見を伺うこととしている。

7. 平成24年度予算（案）について、岩垣係長より説明があり、承認された。（別記14、15）

健対協予算は前年度と同様に県支出金、鳥取県保健事業団支出金、市町村等委託金、その他委託金、県医師会補助金、繰越金を含む諸収入である。平成24年度予算総額は前年度より1,897千円減の60,784千円である。

県委託金のうち「がん登録及び解析評価事業費委託金」は、地域がん登録標準化データベースシステム移行整理に係る人件費として前年度に比べ約449万円が増額された。また、デジタル読影の導入に伴い、読影体制諸経費も計上された。

8. 平成24年度鳥取県健康対策協議会長表彰について

多年に亘り、健対協事業に貢献された井庭信幸先生、岸本拓治先生を平成24年度鳥取県健康対策協議会会長被表彰者と決定した。（別記16）

理事会に引き続き、ホテルモナーク鳥取にて表彰式と懇親会を行った。

(参 考)

平成22年度実績、平成23年度実績（中間）、平成24年度計画について

(単位：人 %)

区 分		平成22年度実績	平成23年度実績見込	平成24年度計画	
胃 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)	188,186	187,601	187,631	
	受 診 者	X 線 検 査 (人・率)	16,082 (8.5)	18,496 (9.9)	20,457 (10.9)
		内 視 鏡 検 査 (人・率)	27,214 (14.5)	29,204 (15.6)	32,404 (17.3)
		合 計 (人・率)	43,296 (23.0)	47,700 (25.4)	52,861 (28.2)
	X 線 検 査	要 精 検 者 数 (人)	1,259	—	—
		要 精 検 率 (%)	7.8	—	—
		精 密 検 査 受 診 者 数 (人)	1,049	—	—
		精 検 受 診 率 (%)	83.3	—	—
	検 診 発 見 がん の 者 (がん の 疑 い)	142 (49)	—	—	
	検 診 発 見 がん 率 (%)	0.33	—	—	
	確 定 調 査 結 果 (確 定 癌 数 ・ 率)	138 (0.32)	—	—	
	H 2 2 年 度 全 国 受 診 率	9.6	—	—	
	子 宮 頸 部 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)	139,232	138,891	138,957
受 診 者 数 (人)		28,453	29,814	33,376	
受 診 率 (%)		20.4 (30.6)	21.5	24.0	
要 精 検 者 数 (人)		293	—	—	
判 定 不 能 者 数 (人)		62	—	—	
要 精 検 率 (%)		1.03	—	—	
精 検 受 診 者 数 (人)		192	—	—	
精 検 受 診 率 (%)		65.5	—	—	
検 診 発 見 がん の 者 (がん の 疑 い)		20 (105)	—	—	
検 診 発 見 がん 率 (%)		0.07	—	—	
確 定 調 査 結 果 (確 定 癌 数 ・ 率)		18 (0.06)	—	—	
H 2 2 年 度 全 国 受 診 率		23.9	—	—	
肺 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)	188,186	187,601	187,631	
	受 診 者 数 (人)	45,482	50,531	55,631	
	受 診 率 (%)	24.2	26.9	29.6	
	要 精 検 者 数 (人)	2,004	—	—	
	要 精 検 率 (%)	4.41	—	—	
	精 検 受 診 者 数 (人)	1,767	—	—	
	精 検 受 診 率 (%)	88.2	—	—	
	検 診 発 見 がん の 者 (がん の 疑 い)	50 (67)	—	—	
	検 診 発 見 がん 率 (%)	0.11	—	—	
	確 定 調 査 結 果 (確 定 癌 数 ・ 率)	69 (0.15)	—	—	
	上 記 の う ち 原 発 性 肺 がん 数	65	—	—	
	H 2 2 年 度 全 国 受 診 率	17.2	—	—	

区 分		平成22年度実績	平成23年度実績見込	平成24年度計画
乳 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)	118,676	116,105	115,298
	受 診 者 数 (人)	17,726	21,783	24,040
	受 診 率 (%)	14.9 (30.1)	18.8	20.9
	要 精 検 者 数 (人)	1,438	—	—
	要 精 検 率 (%)	8.11	—	—
	精 検 受 診 者 数 (人)	1,327	—	—
	精 検 受 診 率 (%)	92.3	—	—
	検診発見がんの者(がんの疑い)	70 (2)	—	—
	検 診 発 見 が ん 率 (%)	0.39	—	—
	確定調査結果(確定癌数・率)	64 (0.36)	—	—
H 2 2 年 度 全 国 受 診 率	19.0	—	—	
大 腸 が ん 検 診	対 象 者 数 (人)	188,186	187,601	187,621
	受 診 者 数 (人)	49,495	54,800	59,881
	受 診 率 (%)	26.3	29.2	31.9
	要 精 検 者 数 (人)	3,783	—	—
	要 精 検 率 (%)	7.6	—	—
	精 検 受 診 者 数 (人)	2,848	—	—
	精 検 受 診 率 (%)	75.3	—	—
	検診発見がんの者(がんの疑い)	133 (5)	—	—
	検 診 発 見 が ん 率 (%)	0.27	—	—
	確定調査結果(確定癌数・率)	132 (0.27)	—	—
H 2 2 年 度 全 国 受 診 率	16.8	—	—	

※検診発見がんの者(率)：精密検査の結果、がんとして診断された者です。

()内の数値は「がん疑いの者」の数を外数で計上。

※確定癌者(率)：精密検査の結果、がん及びがん疑いと診断された者について、鳥取県健康対策協議会が確定調査を行い、最終的に確定癌とされた者です。

※乳がん・子宮がん検診は、国の検診指針では2年に1回のため、受診率全国対比の数値を県受診率欄に()で表示している。

(1) 平成22年度健康増進事業における肝炎ウイルス検査

区 分	対象者数	受診者数	受診率	HBs 陽性者	HCV 陽性者	HBs 陽性率	HCV 陽性率
肝炎ウイルス検査	175,670	2,476	1.4%	54	19	2.2%	0.8%

(精密検査)

区 分	要精検者数	精検受診者数	精検受診率	肝臓がん	肝臓がん疑い	がん発見率
肝炎ウイルス検査	73	41	56.2	0	0	0.00%

平成23年度実績見込み3,721人、平成24年度計画9,110人

(2) 肝臓がん検診により発見されたウイルス陽性者に対するの定期検査状況

区 分	健康指導 対象者	定期検査 受診者数	定期検査結果			
			慢性肝炎	肝硬変	肝臓がん	がん疑い
B型肝炎ウイルス陽性者	1,518	694	112 (16.1)	16 (2.3)	4 (0.6)	2 (0.3)
C型肝炎ウイルス陽性者	979	445	226 (50.8)	16 (3.6)	13 (2.9)	4 (0.9)

平成24年度鳥取県健康対策協議会役員名簿

(任期 平成24年4月1日～平成26年3月31日)

(敬称略)

会 長	岡本 公男 (県 医 師 会 長)	理 事	笠木 正明 (県医師会常任理事)
副会長	豊島 良太 (鳥取大学医学部長)	〃	吉田 真人 (〃)
〃	林 由紀子 (県 福 祉 保 健 部 長)	〃	清水 正人 (〃)
理 事	能勢 隆之 (鳥取大学学長)	〃	米川 正夫 (県医師会理事)
〃	柴田 正顕 (県病院局病院事業管理者)	〃	岡田 克夫 (〃)
〃	末永 洋之 (県福祉保健部子育て王国推進局長)	〃	武信 順子 (〃)
〃	藤井 秀樹 (県福祉保健部健康医療局長)	〃	瀬川 謙一 (〃)
〃	中西 眞治 (県健康医療局医療政策課長)	〃	小林 哲 (〃)
〃	國米 洋一 (県健康医療局医療指導課長)	〃	北野 博也 (鳥取大学医学部附属病院長)
〃	大口 豊 (県健康医療局健康政策課長)	〃	村脇 義和 (鳥取大学医学部教授)
〃	野川ひとみ (県健康医療局健康政策課がん・ 生活習慣病対策室長)	〃	池口 正英 (〃)
〃	日野 理彦 (県立中央病院長)	〃	清水 英治 (〃)
〃	長井 大 (県保健所長会々長)	〃	神崎 晋 (〃)
〃	川崎 寛中 (鳥取産業保健推進連絡事務所代表)	〃	原田 省 (〃)
〃	岸本 拓治 (YMCA米子医療福祉専門学校長)	〃	山本 一博 (〃)
〃	長谷岡淳一 (県衛生環境研究所長)	〃	紀川 純三 (鳥取大学医学部附属病院がんセンター長)
〃	板倉 和資 (東 部 医 師 会 長)	〃	中村 廣繁 (鳥取大学医学部附属病院准教授)
〃	池田 宣之 (中 部 医 師 会 長)	〃	富長 将人 (富長内科眼科クリニック院長)
〃	野坂 美仁 (西 部 医 師 会 長)	〃	工藤 浩史 (鳥取赤十字病院部長)
〃	吉中 正人 (県 医 師 会 副 会 長)	〃	坂本 雅彦 (垣 田 病 院 長)
〃	魚谷 純 (〃)	監 事	新田 辰雄 (県医師会監事)
〃	渡辺 憲 (県医師会常任理事)	〃	石井 敏雄 (〃)
〃	明穂 政裕 (〃)		

※任期は平成26年3月31日までの2年間です。

ただし、鳥取県医師会役員と兼務の理事は公益法人への移行を予定しているため、変更になる可能性があります。

平成23年度鳥取県健康対策協議会事業報告

()の数字は平成23年度決算額

(単位：円)

1. がん登録対策専門委員会【委員長：岸本拓治（鳥大医社会医学講座環境予防医学教授）】

事業内容	摘要
1. がん登録及び集団検診の効果分析 2. 出張採録と患者照合処理の効率化 3. 「鳥取県がん登録事業実施要綱」の制定 4. 標準化データベースシステム（DBS）導入の検討 (1,691,876)	1. 地域がん登録全国協議会総会研究会参加 2. 「鳥取県がん登録事業報告書（平成19年集計）」

2. 胃がん対策専門委員会【委員長：吉中正人（県医師会常任理事）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 胃がん検診フィルムの読影と胃がん検診発見胃がん患者の確定調査 3. 胃がん検診精密検査医療機関登録 4. 胃がん一次検診における内視鏡検査の実施 (6,330,795)	1. 各地区読影委員会設置 2. 従事者講習会及び症例研究会（西部） 3. 厚生労働省研究班による胃内視鏡検診の有効性評価に関する検討

3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：原田 省（鳥大医器官制御外科学講座生殖機能医学教授）】

事業内容	摘要
1. 集団（車検診）検診実施状況の評価、検討 2. 子宮がん検診一次検査医療機関登録 3. 子宮がん検診精密検査医療機関登録 4. 検診発見がん患者の確定調査 5. 若年者の受診率向上対策 (752,857)	1. 従事者講習会及び症例検討会（中部） 2. 子宮がん検診細胞診委員会設置

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：中村廣繁（鳥大医附属病院胸部外科准教授）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 精密検査による肺がん確定診断の調査 3. 肺がん検診精密検査医療機関登録 4. 肺がん医療機関検診実施 (12,554,018)	1. 従事者講習会及び症例研究会（中部） 2. 肺がん検診読影委員会及び細胞診委員会設置 3. 肺がん個別検診読影委員会設置

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：工藤浩史（鳥取赤十字病院第一外科部長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 乳がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見乳がん患者の確定調査 4. 乳がん医療機関検診一次検診医登録 5. マンモグラフィ併用検診体制整備 6. 乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録 (14,590,476)	1. 従事者講習会及び症例検討会（中部） 2. 各地区症例検討会 3. 鳥取県乳がん検診マンモグラフィ読影委員会設置 4. 鳥取県マンモグラフィ読影講習会及び更新読影講習会開催（平成23年10月29日～30日）

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：木村 修（西伯病院長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 検診発見大腸がん患者の確定調査 3. 大腸がん検診精密検査医療機関登録 4. 大腸がん検診注腸X線検査医療機関登録 (447,788)	1. 従事者講習会及び症例研究会（東部） 2. 大腸がん注腸読影委員会設置 3. 大腸がん検診読影講習会 4. 大腸がん注腸読影指導会

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：川崎寛中（鳥取産業保健推進連絡事務所代表）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 肝臓がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見肝臓がん患者の確定調査 (510,699)	1. 従事者講習会及び症例研究会（中部）

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：坂本雅彦（垣田病院長）】

事業内容	摘要
1. 乳幼児・児童生徒の心臓疾患対策 2. 心電図判読 (4,266,836)	1. 各地区判読委員会設置 2. 心臓検診従事者講習会（中部） 3. 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会（改称）総会参加

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：神崎 晋（鳥大医統合内科医学講座周産期小児医学教授）】

事業内容	摘要
1. 母子保健事業の評価 2. 新生児マス・スクリーニングについて 3. 乳幼児健康診査について (445,090)	1. 母子保健対策専門委員会小委員会（2回）開催 （乳幼児健診マニュアル見直し検討）

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会理事）】

事業内容	摘要
1. 鳥取県における透析患者の実態と治療に関する疫学調査研究等（5項目） 2. 母子保健調査研究 ・鳥取県におけるタンデムマススクリーニングとフォローアップ体制 (2,890,000)	1. 「疾病構造の地域特性対策専門委員会報告（第25集）」発行

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：武田 倬（鳥取県立中央病院長）】

事業内容	摘要
1. 地域保健対策 2. 健康教育対策 3. 生活習慣病対策 (2,078,369)	1. 健康フォーラム（東部） 2. 公開健康講座、生活習慣病対策セミナー（とっとり県民カレッジ連携講座） 3. 「学校検尿における2型糖尿病発生頻度及びフォローアップシステム研究」

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：富長将人（県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 特定健診・特定保健指導実施状況の評価、検討 2. 慢性腎臓病対策事業の検討 (444,629)	1. 従事者講習会（東部）

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：藤井秀樹（県福祉保健部健康医療局長）】

事業内容	摘要
1. 地域医療を担う医師の育成 2. 健康・医療にかかわる計画について検討 (0)	

平成23年度総合部会記録

部会長 岡本公男

平成23年度の生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会は平成23年9月8日、平成24年3月15日の2回開催した。

この会では各部会長、専門委員長及びオブザーバーとして各部会の保健師が出席し、特定健診、がん検診、がん登録事業等について、鳥取県健康政策課の資料説明にもとづいて各部会を横断的に問題点について討議を行った。

1) 平成23年1月で40周年を迎えた健対協は、記念事業として6月にホームページを開設し、各種委員会記録、毎年作成している「鳥取県がん検診実績報告書」等の出版物、鳥取県がん登録、各種がん検診精密検査医療機関一覧表等の情報公開を行っている。

また、がん患者向けの「地域の療養情報」リーフレットを作成し、関係先に配布した。

2) 国が推奨する地域がん登録の標準化データベースシステム(DBS)は全国で26府県が導入されている。本県においては、平成23年度に「鳥取県がん登録あり方ワーキンググループ」を立ち上げ、今後、地域がん登録の標準化の導入及び本県のがん登録事業に係る課題整理等の検討を行う。今年度は、ワーキンググループは国立がん研究センター、大阪府立成人病センターの視察を行った。

3) 平成22年度全国がん検診の平均受診率は、大腸がん、子宮がん、乳がんは平成21年度と比較すると、いずれも受診率が増加した一方、胃がんと肺がんの受診率はそれぞれ減少した。鳥取県の受診率は全国平均に比べ約10%上回る良い実績であるが、全国の傾向と同様に胃がんは横ばいに推移、肺がんは減少している。他部位の

がん検診受診率は前年度よりいずれも増加している。

4) 平成20年度から開始した特定健診実施率は、平成20年度24.8%、平成21年度33.0%、平成22年度33.2%と徐々に増加傾向にある。全国平均は43%である。

保険者ごとの特定健診の受診率は、70%以上の高いグループと低いグループに2極化の傾向がある。特定保健指導の実施率は13.0%と全体的に低い。

5) 鳥取県健康対策協議会では、年々増加傾向にある慢性腎臓病(CKD)の予防対策として、特定健診に併せ血清クレアチニン検査と尿酸検査の項目を追加して頂くよう、各医療保険者に対し働きかけてきた。平成24年度実施に当たっては、大半の市町村国保の特定健診において実施されるようだ。

6) 国立がん研究センターが発表した、平成22年「がん75歳未満年齢調整死亡率(10万人対)」によると、鳥取県は全国ワースト2位となった。

「がん検診事業の評価に関する委員会(平成20年3月)報告書」によるプロセス指標として、部位別の要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度等の許容値と目標値が示されている。都道府県、市町村、検診機関においては、プロセス指標により評価を行い、改善点の検討を行うことで、精度の高い検診に取り組むことが重要である。

7) 鳥取県保健事業団において、胃部、胸部の検診車に平成24年度よりデジタル装置を導入することとなった。これに伴い、読影体制等の見直しの検討を行い、手引きが一部改正された。

別記(3)

平成23年度鳥取県健康対策協議会決算書

〈収入の部〉

(単位：円)

款 項 目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増△減	摘 要
1. 県 支 出 金	21,397,000	0	21,397,000	21,337,000	△60,000	
1) 委 託 金	14,631,000	0	14,631,000	14,631,000	0	
(1) がん登録及び解析 評価事業費委託金	1,675,000	0	1,675,000	1,675,000	0	委託金1,595,238円 +消費税79,762円
(2) 県民健康対策調査 研究事業費委託金	2,890,000	0	2,890,000	2,890,000	0	委託金2,752,381円 +消費税137,619円
(3) 健康診査管理支援 事業費委託金	1,841,000	0	1,841,000	1,841,000	0	委託金1,753,333円 +消費税87,667円
(4) 生活習慣病予防セミナー 開催事業費委託金	1,409,000	0	1,409,000	1,409,000	0	委託金1,341,905円 +消費税67,095円
(5) がん検診精度確保 事業費委託金	2,771,000	0	2,771,000	2,771,000	0	委託金2,639,048円 +消費税131,952円
(6) 肝臓がん検診従事者講習 会開催等事業費委託金	287,000	0	287,000	287,000	0	委託金273,333円 +消費税13,667円
(7) 肺がん医療機関検診読影 委員会開催事業費委託金	595,000	0	595,000	595,000	0	委託金566,667円 +消費税28,333円
(8) がん医療情報等 発信事業費委託金	2,788,000	0	2,788,000	2,788,000	0	委託金2,655,238円 +消費税132,762円
(9) 母子保健推進体制 整備事業費委託金	375,000	0	375,000	375,000	0	委託金357,143円 +消費税17,857円
2) 県 負 担 金	3,616,000	0	3,616,000	3,616,000	0	
(1) 事務局強化対策 負担金	3,616,000	0	3,616,000	3,616,000	0	
3) 県 補 助 金	3,150,000	0	3,150,000	3,090,000	△60,000	
(1) 鳥取県地域医療再生 基金事業補助金	3,150,000	0	3,150,000	3,090,000	△60,000	
2. 保健事業団支出金	21,900,000	△1,577,051	20,322,949	20,322,949	0	
1) 委 託 金	21,500,000	△1,577,051	19,922,949	19,922,949	0	
(1) 胃集検読影 事業費委託金	6,237,000	△514,210	5,722,790	5,722,790	0	{ @330×16,516件=5,450,280円 消費税272,510円
(2) 子宮がん検診 事業費委託金	473,000	△212,180	260,820	260,820	0	{ 細胞診1次@400×0件=0円 最終判定@900×276件 =248,400円 消費税12,420円
(3) 肺がん検診 事業費委託金	4,680,000	△494,291	4,185,709	4,185,709	0	{ フィルム読影料 @70×56,897件 細胞診1次@400×0件 最終判定@900×4件 消費税199,319円
(4) 乳がん検診 事業費委託金	5,700,000	△266,700	5,433,300	5,433,300	0	{ マンモグラフィ読影料 @600×9,055.5件 (内税258,728円)
(5) 若年者心臓検診 事業費委託金	4,410,000	△89,670	4,320,330	4,320,330	0	{ @200×20,573件=4,114,600円 消費税205,730円
2) 補 助 金	400,000	0	400,000	400,000	0	
(1) 各専門委員会連絡 調整補助金	400,000	0	400,000	400,000	0	

款 項 目	予算額	補正額	予算現額	収入済額	増△減	摘 要
3. 市町村等支出金	14,580,000	△170,760	14,409,240	14,409,240	0	
1) 市町村委託金	14,580,000	△170,760	14,409,240	14,409,240	0	
(1) 肺がん医療機関検診 事業費委託金	7,980,000	156,240	8,136,240	8,136,240	0	@420×19,372件 (内税)
(2) 乳がん検診 事業費委託金	6,600,000	△327,000	6,273,000	6,273,000	0	@600×10,455件 (内税)
4. その他委託金	1,399,000	△405,787	993,213	993,213	0	
1) 委 託 金	1,399,000	△405,787	993,213	993,213	0	
(1) 若年者心臓検診 事業費委託金	441,000	△120,750	320,250	320,250	0	山陰予防医学研究所 @210×1,525件 (内税)
(2) 胃集検読影 事業費委託金	797,000	△219,041	577,959	577,959	0	中国労働衛生協会 @330×1,668件 +消費税27,519円
(3) 肺がん検診 事業費委託金	101,000	△5,996	95,004	95,004	0	中国労働衛生協会 フィルム読影料@120×754件 消費税4,524円
(4) 乳がん検診 事業費委託金	60,000	△60,000	0	0	0	中国労働衛生協会 @600×0件 (内税)
5. 県医師会補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
1) 県医師会補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
(1) 運営費補助金	1,300,000	0	1,300,000	1,300,000	0	
6. 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	△1,000	
1) 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	△1,000	
(1) 寄 付 金	1,000	0	1,000	0	△1,000	
7. 諸 収 入	8,000	0	8,000	1,338	△6,662	
1) 預 金 利 子	8,000	0	8,000	1,338	△6,662	
(1) 預 金 利 子	8,000	0	8,000	1,338	△6,662	
8. 繰 越 金	2,096,000	0	2,096,000	2,096,794	794	
1) 前年度繰越金	2,096,000	0	2,096,000	2,096,794	794	
(1) 前年度繰越金	2,096,000	0	2,096,000	2,096,794	794	
収入合計	62,681,000	△2,153,598	60,527,402	60,460,534	△66,868	

〈支出の部〉

(単位：円)

款 項 目	予 算 現 額				支出済額	不用額	摘 要
	予算額	補正額	流用増減	計			
1. 総 務 費	8,212,000	0	0	8,212,000	8,168,218	43,782	
1) 会 議 費	1,183,000	0	0	1,183,000	1,181,523	1,477	
(1) 理 事 会 費	1,183,000	0	0	1,183,000	1,181,523	1,477	
2) 各 専 門 委 員 会 費	1,233,000	0	0	1,233,000	1,190,695	42,305	
(1) 各 専 門 委 員 会 費	1,233,000	0	0	1,233,000	1,190,695	42,305	
3) がん医療情報等費	2,788,000	0	0	2,788,000	2,788,000	0	公租公課費 692,000円
(1) がん医療情報等費	2,788,000	0	0	2,788,000	2,788,000	0	健康対策費のうち以下 の項目で公租公課 費を支出
4) 給 料	2,316,000	0	0	2,316,000	2,316,000	0	胃がん対策費 100,811円
(1) 給 料	2,316,000	0	0	2,316,000	2,316,000	0	子宮がん対策費 4,173円
5) 公 租 公 課 費	692,000	0	0	692,000	692,000	0	※ 肺がん対策費 204,267円
(1) 公 租 公 課 費	692,000	0	0	692,000	692,000	0	乳がん対策費 187,300円
							若年者心臓検診対策費 74,249円
							小計 570,800円 合計1,262,800円
2. 健康対策費	54,469,000	△2,153,598	0	52,315,402	49,789,419	2,525,983	
1) がん登録対策費	1,730,000	0	0	1,730,000	1,691,876	38,124	
(1) がん登録費	1,730,000	0	0	1,730,000	1,691,876	38,124	
2) 胃がん対策費	7,244,000	△733,251	0	6,510,749	6,330,795	179,954	
(1) 胃がん対策費	7,244,000	△733,251	0	6,510,749	6,330,795	179,954	※公租公課費 100,811円支出
3) 子宮がん対策費	969,000	△212,180	0	756,820	752,857	3,963	
(1) 子宮がん対策費	969,000	△212,180	0	756,820	752,857	3,963	※公租公課費 4,173円支出
4) 肺がん対策費	13,566,000	△344,047	0	13,221,953	12,554,018	667,935	
(1) 肺がん対策費	12,971,000	△344,047	0	12,626,953	11,959,018	667,935	※公租公課費 204,267円支出
(2) 肺がん医療機関検診 読影委員会対策費	595,000	0	0	595,000	595,000	0	
5) 乳がん対策費	15,763,000	△653,700	0	15,109,300	14,590,476	518,824	
(1) 乳がん対策費	12,613,000	△653,700	0	11,959,300	11,500,476	458,824	※公租公課費 187,300円支出
(2) 鳥取県マンモグラフィ 読影講習会及び読 影更新講習会開催費	3,150,000	0	0	3,150,000	3,090,000	60,000	
6) 大腸がん対策費	570,000	0	0	570,000	447,788	122,212	
(1) 大腸がん対策費	570,000	0	0	570,000	447,788	122,212	
7) 肝臓がん対策費	517,000	0	0	517,000	510,699	6,301	
(1) 肝臓がん対策費	517,000	0	0	517,000	510,699	6,301	

款 項 目	予 算 現 額				支出済額	不用額	摘 要
	予算額	補正額	流用増減	計			
8) がん検診精度 が確保対策費	2,795,000	0	0	2,795,000	2,785,986	9,014	
(1) がん検診精度 が確保対策費	2,795,000	0	0	2,795,000	2,785,986	9,014	
9) 若年者心臓検診 対策費	4,851,000	△210,420	0	4,640,580	4,266,836	373,744	※公租公課費 74,249円支出
(1) 若年者心臓検診 対策費	4,851,000	△210,420	0	4,640,580	4,266,836	373,744	
10) 母子保健対策費	475,000	0	0	475,000	445,090	29,910	
(1) 母子保健対策 協議会対策費	475,000	0	0	475,000	445,090	29,910	
11) 県民健康対策費	2,890,000	0	0	2,890,000	2,890,000	0	
(1) 疾病構造調査等 研究費	2,890,000	0	0	2,890,000	2,890,000	0	
12) 公衆衛生活動 対策費	2,527,000	0	0	2,527,000	2,078,369	448,631	
(1) 地域保健対策費	610,000	0	0	610,000	251,743	358,257	
(2) 健康教育対策費	1,017,000	0	0	1,017,000	935,376	81,624	
(3) 公開健康講座 対策費	315,000	0	0	315,000	306,250	8,750	
(4) 生活習慣病対策 セミナー対策費	585,000	0	0	585,000	585,000	0	
13) 生活習慣病対策費	472,000	0	0	472,000	444,629	27,371	
(1) 生活習慣病 対策費	472,000	0	0	472,000	444,629	27,371	
14) 地域医療研修及び 健康情報対策費	100,000	0	0	100,000	0	100,000	
(1) 地域医療研修及び 健康情報対策費	100,000	0	0	100,000	0	100,000	
支 出 合 計	62,681,000	△2,153,598	0	60,527,402	57,957,637	2,569,765	

収入済額 60,460,534円

支出済額 57,957,637円

差引残額 2,502,897円 (平成24年度へ繰越)

別記(4)

平成23年度鳥取県健康対策協議会予算決算対照表

(単位：円)

事業名	支出予算額 支出決算額	内 訳					
		県支出金	事業団支出金	市町村等支出金	その他委託金	医師会補助金	利息その他
1. がん登録対策	1,730,000	1,675,000				55,000	
	1,691,876	1,675,000				16,876	
2. 胃がん対策	6,510,749	210,000	5,722,790		577,959		
	6,330,795	210,000	5,697,587		423,208		
3. 子宮がん対策	756,820	316,000	260,820			80,000	100,000
	752,857	316,000	260,820			80,000	96,037
4. 肺がん対策	13,221,953	805,000	4,185,709	8,136,240	95,004		
	12,554,018	805,000	3,842,897	7,811,117	95,004		
5. 乳がん対策	15,109,300	3,403,000	5,433,300	6,273,000	0		
	14,590,476	3,343,000	5,174,476	6,073,000	0		
6. 大腸がん対策	570,000	250,000				150,000	170,000
	447,788	250,000				150,000	47,788
7. 肝臓がん対策	517,000	287,000				80,000	150,000
	510,699	287,000				80,000	143,699
8. がん検診精度 確保対策	2,795,000	2,771,000					24,000
	2,785,986	2,771,000					14,986
9. 若年者心臓検診 対策	4,640,580		4,320,330		320,250		
	4,266,836		4,006,836		260,000		
10. 母子保健対策	475,000	375,000					100,000
	445,090	375,000					70,090
11. 県民健康対策	2,890,000	2,890,000					
	2,890,000	2,890,000					
12. 公衆衛生活動 対策	2,527,000	1,409,000	400,000			425,000	293,000
	2,078,369	1,409,000	400,000			250,000	19,369
13. 生活習慣病対策	472,000	302,000				20,000	150,000
	444,629	302,000				20,000	122,629
14. 地域医療研修及 び健康情報対策	100,000					100,000	
	0					0	
15. 総 務 費	8,212,000	6,704,000				390,000	1,118,000
	8,168,218	6,704,000				390,000	1,074,218
合 計	60,527,402	21,397,000	20,322,949	14,409,240	993,213	1,300,000	2,105,000
	57,957,637	21,337,000	19,382,616	13,884,117	778,212	986,876	1,588,816

別 記 (5)

表 彰 基 金

(平成24年 3月31日現在)

1. 基金運用収支

(単位：円)

科 目	年度初現在高	増	減	年度末現在高	摘 要
1. 収 入					
前年度繰越金	586,508				
雑 入		75		586,583	普通預金利息
2. 支 出					
表彰関係諸費			170,645	△170,645	表彰状、感謝状、記念品等(9名分)
計	586,508	75	170,645	415,938	

別 記 (6)

鳥取県健康対策協議会特別事業・決算

1. 定期預金

(単位：円)

科 目	年度初現在高	増	減	残 額	摘 要
1. 定期預金積立	4,039,234				鳥取銀行本店
2. 定期預金利息		973			
計	4,039,234	973	0	4,040,207	

2. 普通預金収支

科 目	年度初現在高	増	減	残 額	摘 要
1. 収 入					
前年度繰越金	2,048,697				
雑 入		298		2,048,995	普通預金利息
2. 支 出					
健 対 協 40 周 年 記 念 事 業 諸 経 費			307,465		
計	2,048,697	298	307,465	1,741,530	

別記(7)

(写)

監 査 報 告 書

鳥取県健康対策協議会規約第6条8項の規程により、平成23年度鳥取県健康対策協議会事業報告・収入支出予算の執行について関係諸帳簿等を監査した結果適正であることを認めます。

平成24年5月24日

監事 新田辰雄 印

監事 石井敏雄 印

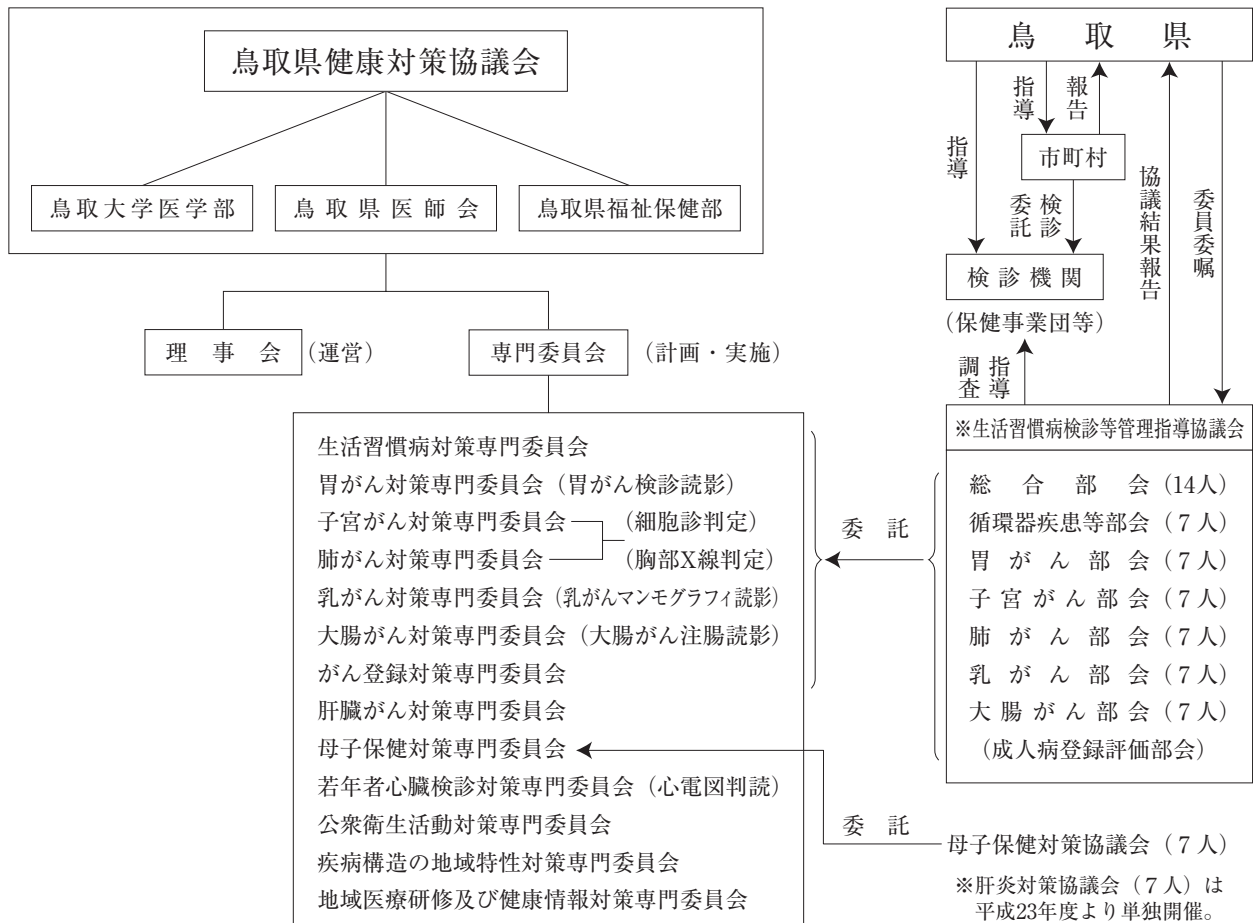
鳥取県健康対策協議会

会長 岡本公男 殿

別記(8)

鳥取県健康対策協議会と生活習慣病検診等管理指導協議会組織図

(昭和46年1月26日発足)



平成24年度鳥取県健康対策協議会専門委員会委員名簿

1. がん登録対策専門委員会【委員長：岸本拓治（YMCA米子医療福祉専門学校長）】

医師会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉中 正人（県医師会副会長）	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	能勢 隆之（鳥取大学学長）
魚谷 純（県医師会副会長）	野川ひとみ（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	村脇 義和（統合内科医学講座機能病態内科学教授）
明穂 政裕（県医師会常任理事）	日野 理彦（県立中央病院長）	紀川 純三（附属病院がんセンター教授）
岡田 克夫（県医師会理事）	前田 迪郎（県立厚生病院長）	黒沢 洋一（社会医学講座健康政策医学教授）
岩垣 陽子（県医師会事務局）	國政 清子（鳥取県立中央病院医療情報管理室副看護師長）	尾崎 米厚（社会医学講座環境予防医学准教授）
山下 裕（鳥取市立病院長）	吉田 良平（倉吉保健所長）	岡本 幹三（社会医学講座健康政策医学講師）
山本 哲夫（米子医療センター副院長）	原田 五月（北栄町健康推進課健康づくり推進室保健師）	
西土井英昭（東部医師会）		
石飛 誠一（中部医師会）		
南崎 剛（西部医師会）		

2. 胃がん対策専門委員会【委員長：吉中正人（県医師会副会長）】

医師会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡田 克夫（県医師会理事）	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	池口 正英（器官制御外科学講座病態制御外科学教授）
瀬川 謙一（県医師会理事）	野川ひとみ（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	八島 一夫（附属病院第2内科診療科群講師）
謝花 典子（山陰労災病院部長）	清水 辰宣（県立中央病院室長）	建部 茂（附属病院第1外科診療科群講師）
西土井英昭（鳥取赤十字病院副院長）	秋藤 洋一（県立厚生病院医療局長兼内科部長）	
山口 由美（鳥取赤十字病院部長）	吉田 良平（倉吉保健所長）	
尾崎 真人（東部医師会）	早田 鈴美（倉吉市福祉保健部保健センター主任保健師）	
藤井 武親（中部医師会）		
伊藤 慎哉（西部医師会）	三浦 邦彦（県保健事業団西部本部参与）	
	三宅 二郎（県保健事業団巡回健診課放射線係長）	

3. 子宮がん対策専門委員会

【委員長：原田 省（鳥取大学医学部器官制御外科学講座生殖機能医学教授）】

医師会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉中 正人（県医師会副会長）	大口 豊（県健康医療局健康政策課長）	紀川 純三（附属病院がんセンター教授）
岡田 克夫（県医師会理事）	皆川 幸久（県立中央病院副院長兼医療局長）	板持 広明（器官制御外科学講座生殖機能医学講師）
井庭 信幸（鳥取県産婦人科医会長）	大野原良昌（県立厚生病院部長）	
伊藤 隆志（長田産科婦人科クリニック）	長井 大（鳥取保健所長）	
清水 健治（鳥取市立病院副院長）	田中さよ子（県立中央病院看護師長）	
梅澤 潤一（東部医師会）	長谷川照子（日南町福祉保健課主任保健師）	
井奥 研爾（中部医師会）		
作野 嘉信（西部医師会）	富山 真弓（県保健事業団施設健診課長）	

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：中村廣繁（鳥取大学医学部附属病院胸部外科准教授）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉中 正人（県医師会副会長）	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	清水 英治（統合内科医学講座分子制御内科学教授）
吉田 真人（県医師会常任理事）	野川ひとみ（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	谷口 雄司（附属病院手術部講師）
岡田 克夫（県医師会理事）	杉本 勇二（県立中央病院部長）	
小林 哲（県医師会理事）	吹野 俊介（県立厚生病院中央手術センター長兼外科部長）	
谷口 玲子（ひまわり内科クリニック院長）	吉田 良平（倉吉保健所長）	
工藤 浩史（鳥取赤十字病院部長）	川口 慶子（岩美町健康対策課課長補佐）	
尾崎 真人（東部医師会）		
岡田耕一郎（中部医師会）		
丸山 茂樹（西部医師会）	大久保 誠（県保健事業団施設健診課参事）	

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：工藤浩史（鳥取赤十字病院第1外科部長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉中 正人（県医師会副会長）	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	廣岡 保明（保健学科病態検査学講座教授）
米川 正夫（県医師会理事）	野川ひとみ（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	石黒 清介（器官制御外科学講座器官再生外科学准教授）
岡田 克夫（県医師会理事）	前田 啓之（県立中央病院医長）	
小林 哲（県医師会理事）	長井 大（鳥取保健所長）	
山口 由美（鳥取赤十字病院部長）	長谷川ゆかり（中部総合事務所福祉保健局健康支援課長）	
池田 光之（東部医師会）	岸本 良子（大山町保健課主幹保健師）	
青木 哲哉（中部医師会）		
角 賢一（西部医師会）	大久保ひとみ（県保健事業団中部支部診療放射線技師）	

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会理事）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉中 正人（県医師会副会長）	大口 豊（県健康医療局健康政策課長）	八島 一夫（附属病院第2内科診療科群講師）
米川 正夫（県医師会理事）	山本 寛子（県立中央病院）	蘆田 啓吾（附属病院第1外科診療科群助教）
瀬川 謙一（県医師会理事）	秋藤 洋一（県立厚生病院医療局長兼内科部長）	
古城 治彦（山陰労災病院内科医師）	長井 大（鳥取保健所長）	
西土井英昭（鳥取赤十字病院副院長）	清水知加子（琴浦町健康対策課係長）	
田中 久雄（鳥取赤十字病院部長）		
尾崎 真人（東部医師会）		
山本 敏雄（中部医師会）		
遠藤 秀之（西部医師会）	富田 優子（県保健事業団総括健診課細胞検査係長）	

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：川崎寛中（鳥取産業保健推進連絡事務所代表）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉中 正人（県医師会副会長）	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	村脇 義和（統合内科医学講座機能病態内科学教授）
岡田 克夫（県医師会理事）	大口 豊（県健康医療局健康政策課長）	廣岡 保明（保健学科病態検査学講座教授）
瀬川 謙一（県医師会理事）	清水 辰宣（県立中央病院室長）	孝田 雅彦（統合内科医学講座機能病態内科学准教授）
石飛 誠一（中部医師会立三朝温泉病院部長）	大城 陽子（米子保健所長兼日野保健所長）	岡本 欣也（附属病院第2内科診療科群助教）
岸本 幸廣（山陰労災病院副院長）	西村 恵子（八頭町保健課副主幹）	
松木 勉（鳥取市立病院診療局長）		
満田 朱理（鳥取赤十字病院部長）		
松田 裕之（東部医師会）		
青木 哲哉（中部医師会）		
野坂 康雄（西部医師会）	山下 裕子（県保健事業団巡回健診臨床検査技師）	

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：坂本雅彦（垣田病院長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉中 正人（県医師会副会長）	渡辺 恭子（県子育て王国推進局子育て応援課長）	西村 元延（脳神経外科科学講座器管再生外科学教授）
笠木 正明（県医師会常任理事）	吹野 英明（県スポーツ健康教育課長）	船田 裕昭（附属病院小児科助教）
吉田 真人（県医師会常任理事）	吉田 泰之（県立中央病院医療局副局長兼総合診療科部長）	
岡田 克夫（県医師会理事）	星加 忠孝（県立中央病院部長）	
武信 順子（県医師会理事）	奈良井 栄（県立厚生病院部長）	
石谷 暢男（東部医師会）	大城 陽子（米子保健所長兼日野保健所長）	
松田 隆（中部医師会）		
瀬口 正史（西部医師会）	長谷川利恵（県保健事業団総括健診課課長補佐）	

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：神崎 晋（鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期小児医学教授）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉中 正人（県医師会副会長）	渡辺 恭子（県子育て王国推進局子育て応援課長）	大野 耕策（脳神経科学講座脳神経小児科学教授）
魚谷 純（県医師会副会長）	皆川 幸久（県立中央病院副院長兼医療局長）	前田 隆子（保健学科母性・小児家族看護学講座教授）
笠木 正明（県医師会常任理事）	大野原良昌（県立厚生病院部長）	小枝 達也（鳥大地域学部発達科学教授）
岡田 克夫（県医師会理事）	大城 陽子（米子保健所長兼日野保健所長）	
大谷 恭一（智頭病院小児科科長）	酒嶋 里美（東部総合事務所福祉保健局健康支援課がん対策・健康づくり支援担当主幹）	
井庭 信幸（鳥取県産婦人科医会長）		
石谷 暢男（東部医師会）	秋久あつみ（湯梨浜町子育て支援課保健師）	
明島 亮二（中部医師会）	石口 妙子（南部町健康福祉課主幹保健師）	
中曾 庸博（西部医師会）		

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会理事）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
岡本 公男（県医師会長）	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	能勢 隆之（鳥取大学学長）
吉中 正人（県医師会副会長）	大口 豊（県健康医療局健康政策課長）	北野 博也（附属病院長）

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：魚谷 純（県医師会副会長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉中 正人（県医師会副会長）	藤井 秀樹（県福祉保健部健康医療局長）	能勢 隆之（鳥取大学学長）
渡辺 憲（県医師会常任理事）	野川ひとみ（県健康政策課がん・生活習慣病対策室長）	黒沢 洋一（社会医学講座健康政策医学教授）
清水 正人（県医師会常任理事）	吹野 英明（県スポーツ健康教育課長）	尾崎 米厚（社会医学講座環境予防医学准教授）
岡田 克夫（県医師会理事）	日野 理彦（県立中央病院院長）	
福永 康作（東部医師会）	中安 弘幸（県立中央病院部長）	
森尾 泰夫（中部医師会）	吉田 良平（倉吉保健所長）	
松野 充孝（西部医師会）	長谷岡淳一（県衛生環境研究所長）	
	丸瀬 和美（県保健事業団常務理事兼事務局長）	

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：富長将人（富長内科眼科クリニック院長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉中 正人（県医師会副会長）	大口 豊（県健康医療局健康政策課長）	山本 一博（統合内科医学講座病態情報内科学教授）
吉田 真人（県医師会常任理事）	中安 弘幸（県立中央病院部長）	浦上 克哉（保健学科生体制御学講座教授）
岡田 克夫（県医師会理事）	大城 陽子（米子保健所長兼日野保健所長）	谷口 晋一（地域医療学講座教授）
武信 順子（県医師会理事）	山根 葉子（若桜町保健センター健康対策係主幹）	宗村 千潮（附属病院第2内科診療科群講師）
重政 千秋（鳥取市福祉保健部参与）		
吉田 泰之（東部医師会）		
西田 法孝（中部医師会）		
越智 寛（西部医師会）	梶川 貴子（県保健事業団企画調整課保健師）	

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：藤井秀樹（県福祉保健部健康医療局長）】

医 師 会	県	鳥取大学医学部・附属病院
吉中 正人（県医師会副会長）	日野 力（県福祉保健部長寿社会課長）	豊島 良太（医学部長）
渡辺 憲（県医師会常任理事）	中西 眞治（県健康医療局医療政策課長）	北野 博也（附属病院長）
岡田 克夫（県医師会理事）		谷口 晋一（地域医療学講座教授）
板倉 和資（東部医師会長）		
池田 宣之（中部医師会長）		
野坂 美仁（西部医師会長）		

別記 (10) (参考)

鳥取県生活習慣病検診等管理指導協議会総合部会委員名簿

部 会 名	氏 名	勤 務 先	職 名
健 対 協 会 長	岡本 公男	岡本医院	院 長
循 環 器 疾 患 等	○ 山本 一博 富長 将人	鳥取大学医学部統合内科医学講座病態情報内科学 富長内科眼科クリニック	教 授 院 長
胃 が ん	○ 池口 正英 吉中 正人	鳥取大学医学部器官制御外科学講座病態制御外科学 吉中胃腸科医院	教 授 院 長
子 宮 が ん	○ 紀川 純三 原田 省	鳥取大学医学部附属病院がんセンター 鳥取大学医学部器官制御外科学講座生殖機能医学	教 授 教 授
肺 が ん	○ 清水 英治 中村 廣繁	鳥取大学医学部統合内科医学講座分子制御内科学 鳥取大学医学部附属病院胸部外科	教 授 准 教 授
乳 が ん	○ 石黒 清介 工藤 浩史	鳥取大学医学部器官制御外科学講座器官再生外科学 鳥取赤十字病院第一外科	准 教 授 部 長
大 腸 が ん	○ 八島 一夫 岡田 克夫	鳥取大学医学部附属病院第二内科 おかだ内科	講 師 院 長
がん登録対策専門委員会	岸本 拓治	YMCA米子医療福祉専門学校	校 長

○印は各部会の部会長

別記 (11) (参考)

肝炎対策協議会・肝臓がん対策専門委員会

委 員 会 名	氏 名	勤 務 先	職 名
肝炎対策協議会	村脇 義和	鳥取大学医学部統合内科医学講座機能病態内科学	教 授
肝臓がん対策専門委員会	川崎 寛中	鳥取産業保健推進連絡事務所	代 表

生活習慣病検診等管理指導協議会部会委員

(順不同・アンダーラインは部会長)

部 会 名	氏 名	職 名
循環器疾患等 計7名	<u>山 本 一 博</u>	鳥取大学医学部統合内科医学講座病態情報内科学教授
	富 長 将 人	富長内科眼科クリニック院長
	大 城 陽 子	米子保健所長兼日野保健所長
	武 信 順 子	武信眼科院長
	谷 口 晋 一	鳥取大学医学部地域医療学講座教授
	中 安 弘 幸	鳥取県立中央病院神経内科部長
	山 根 葉 子	若桜町保健センター健康対策係主幹
胃 が ん 計7名	<u>池 口 正 英</u>	鳥取大学医学部器官制御外科学講座病態制御外科学教授
	吉 中 正 人	吉中胃腸科医院長
	秋 藤 洋 一	鳥取県立厚生病院医療局長兼内科部長
	瀬 川 謙 一	瀬川医院長
	謝 花 典 子	山陰労災病院消化器内科部長
	早 田 鈴 美	倉吉市福祉保健部保健センター主任保健師
	山 口 由 美	鳥取赤十字病院第三外科部長
子 宮 が ん 計7名	<u>紀 川 純 三</u>	鳥取大学医学部附属病院がんセンター教授
	原 田 省	鳥取大学医学部器官制御外科学講座生殖機能医学教授
	井 庭 信 幸	彦名クリニック院長
	田 中 さよ子	鳥取県立中央病院看護師長
	富 山 真 弓	鳥取県保健事業団施設健診課長
	長谷川 照 子	日南町福祉保健課主任保健師
	皆 川 幸 久	鳥取県立中央病院副院長兼医療局長
肺 が ん 計7名	<u>清 水 英 治</u>	鳥取大学医学部統合内科医学講座分子制御内科学教授
	中 村 廣 繁	鳥取大学医学部附属病院胸部外科准教授
	川 口 慶 子	岩美町健康対策課課長補佐
	杉 本 勇 二	鳥取県立中央病院内科部長
	谷 口 玲 子	ひまわり内科クリニック院長
	吹 野 俊 介	鳥取県立厚生病院中央手術センター長兼外科部長
	吉 田 良 平	倉吉保健所長
乳 が ん 計7名	<u>石 黒 清 介</u>	鳥取大学医学部器官制御外科学講座器官再生外科学准教授
	工 藤 浩 史	鳥取赤十字病院第一外科部長
	大久保 ひとみ	鳥取県保健事業団中部支部診療放射線技師
	岸 本 良 子	大山町保健課主幹保健師
	長谷川 ゆかり	中部総合事務所福祉保健局健康支援課長
	廣 岡 保 明	鳥取大学医学部保健学科病態検査学講座教授
	前 田 啓 之	鳥取県立中央病院呼吸器外科心臓血管外科医長

部 会 名		氏 名	職 名
大腸がん		八 島 一 夫 岡 田 克 夫 古 城 治 彦 清 水 知加子 西土井 英 昭 富 田 優 子 山 本 寛 子	鳥取大学医学部附属病院第二内科診療科群講師 おかだ内科院長 山陰労災病院内科医師 琴浦町健康対策課係長 鳥取赤十字病院副院長 鳥取県保健事業団総括健診課細胞検査係長 鳥取県立中央病院
計7名			
成人病登録評価部会	がん登録委員会	岸 本 拓 治	YMCA米子医療福祉専門学校長
		岩 垣 陽 子	鳥取県医師会係長
		岡 本 幹 三	鳥取大学医学部社会医学講座健康政策医学講師
		國 政 清 子	鳥取県立中央病院医療情報管理室副看護師長
		能 勢 隆 之	鳥取大学学長
		原 田 五 月	北栄町健康推進課健康づくり推進室保健師
		吉 中 正 人	吉中胃腸科医院長
		計7名	
母子保健対策協議会		井 庭 信 幸 神 崎 晋 石 口 妙 子 大 野 耕 策 笠 木 正 明 酒 嶋 里 美 前 田 隆 子	彦名クリニック院長 鳥取大学医学部統合内科医学講座周産期小児医学教授 南部町健康福祉課主幹保健師 鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経小児科学教授 こどもクリニックかさぎ院長 東部総合事務所福祉保健局健康支援課がん対策・健康づくり支援担当主幹 鳥取大学医学部保健学科母性・小児家族看護学講座教授
計7名			

平成24年度鳥取県健康対策協議会事業計画

() の数字は平成24年度予算額

(単位：千円)

1. がん登録対策専門委員会【委員長：岸本拓治（YMCA米子医療福祉専門学校長）】

事業内容	摘要
1. がん登録及び集団検診の効果分析 2. 出張採録と患者照合処理の効率化 3. 「鳥取県がん登録事業実施要綱」の制定 4. 標準化データベースシステム（DBS）導入の検討 (6,324)	1. 地域がん登録全国協議会総会研究会参加

2. 胃がん対策専門委員会【委員長：吉中正人（県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 胃がん検診フィルムの読影と胃がん検診発見胃がん患者の確定調査 3. 胃がん検診精密検査医療機関登録 4. 胃がん一次検診における内視鏡検査の実施 5. 車検診におけるデジタル化に伴う読影体制整備 (6,721)	1. 各地区読影委員会設置 2. 従事者講習会及び症例研究会（中部） 3. 厚生労働省研究班による胃内視鏡検診の有効性評価に関する検討

3. 子宮がん対策専門委員会【委員長：原田 省（鳥大医器官制御外科学講座生殖機能医学教授）】

事業内容	摘要
1. 集団（車検診）検診実施状況の評価、検討 2. 子宮がん検診一次検査医療機関登録 3. 子宮がん検診精密検査医療機関登録 4. 検診発見がん患者の確定調査 5. 若年者の受診率向上対策 (800)	1. 従事者講習会及び症例検討会（東部） 2. 子宮がん検診細胞診委員会設置

4. 肺がん対策専門委員会【委員長：中村廣繁（鳥大医附属病院胸部外科准教授）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 精密検査による肺がん確定診断の調査 3. 肺がん検診精密検査医療機関登録 4. 肺がん医療機関検診実施 5. デジタル化に伴う読影体制整備 (14,122)	1. 従事者講習会及び症例研究会（東部） 2. 肺がん検診読影委員会及び細胞診委員会設置 3. 肺がん個別検診読影委員会設置

5. 乳がん対策専門委員会【委員長：工藤浩史（鳥取赤十字病院第一外科部長）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 乳がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見乳がん患者の確定調査 4. 乳がん医療機関検診一次検診医登録 5. マンモグラフィ併用検診体制整備 6. 乳がん検診一次検査（乳房エックス線撮影）医療機関登録 (12,413)	1. 従事者講習会及び症例検討会（西部） 2. 各地区症例検討会 3. 鳥取県乳がんマンモグラフィ読影委員会設置

6. 大腸がん対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会理事）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 検診発見大腸がん患者の確定調査 3. 大腸がん検診精密検査医療機関登録 4. 大腸がん検診注腸X線検査医療機関登録 (570)	1. 従事者講習会及び症例研究会（中部） 2. 大腸がん注腸読影委員会設置 3. 大腸がん検診読影講習会 4. 大腸がん注腸読影指導会

7. 肝臓がん対策専門委員会【委員長：川崎寛中（鳥取産業保健推進連絡事務所代表）】

事業内容	摘要
1. 集団検診実施状況の評価、検討 2. 肝臓がん検診精密検査医療機関登録 3. 検診発見肝臓がん患者の確定調査 (537)	1. 従事者講習会及び症例研究会（西部）

8. 若年者心臓検診対策専門委員会【委員長：坂本雅彦（垣田病院長）】

事業内容	摘要
1. 乳幼児・児童生徒の心臓疾患対策 2. 心電図判読 (4,647)	1. 各地区判読委員会設置 2. 心臓検診従事者講習会（中部） 3. 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会（改称）総会参加

9. 母子保健対策専門委員会【委員長：神崎 晋（鳥大医統合内科医学講座周産期小児医学教授）】

事業内容	摘要
1. 母子保健事業の評価 2. 新生児マス・スクリーニングについて 3. 乳幼児健康診査について (475)	1. 母子保健対策専門委員会小委員会（2回）開催 (乳幼児健診マニュアル見直し検討)

10. 疾病構造の地域特性対策専門委員会【委員長：岡田克夫（県医師会理事）】

事業内容	摘要
1. 鳥取県における透析患者の実態と治療に関する疫学調査研究等（5項目） 2. 母子保健調査研究 (2,940)	

11. 公衆衛生活動対策専門委員会【委員長：魚谷 純（県医師会副会長）】

事業内容	摘要
1. 地域保健対策 2. 健康教育対策 3. 生活習慣病対策 (2,627)	1. 健康フォーラム（中部） 2. 公開健康講座、生活習慣病対策セミナー (とっとり県民カレッジ連携講座)

12. 生活習慣病対策専門委員会【委員長：富長将人（富長内科眼科クリニック院長）】

事業内容	摘要
1. 特定健診・特定保健指導実施状況の評価、検討 2. 慢性腎臓病対策事業の検討 (472)	1. 従事者講習会（西部）

13. 地域医療研修及び健康情報対策専門委員会【委員長：藤井秀樹（鳥取県福祉保健部健康医療局長）】

事業内容	摘要
1. 地域医療の充実についての検討 2. 健康、医療に関わる計画について検討 (120)	

平成24年度鳥取県健康対策協議会予算書

〈収入の部〉

(単位：千円)

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
1. 県 支 出 金		19,953	21,397	△1,444	
1) 委 託 金		16,337	14,631	1,706	
(1) がん登録及び解析 評価事業費委託金		6,169	1,675	4,494	委託金5,875千円 +消費税294千円
	1. がん登録及び解析 評価事業費委託金	6,169	1,675	4,494	
(2) 県民健康対策調査 研究事業費委託金		2,890	2,890	0	委託金2,752千円 +消費税138千円
	1. 県民健康対策調査 研究事業費委託金	2,890	2,890	0	
(3) 健康診査管理支援 事業費委託金		1,841	1,841	0	委託金1,753千円 +消費税88千円
	1. 健康診査管理支援 事業費委託金	1,841	1,841	0	
(4) 生活習慣病予防セミ ナー開催事業費委託金		1,409	1,409	0	委託金1,342千円 +消費税67千円
	1. 生活習慣病予防セミ ナー開催事業費委託金	1,409	1,409	0	
(5) がん検診精度確保 事業費委託金		2,771	2,771	0	委託金2,639千円 +消費税132千円
	1. がん検診精度確保 事業費委託金	2,771	2,771	0	
(6) 肝臓がん検診従事者講習 会開催等事業費委託金		287	287	0	委託金273千円 +消費税14千円
	1. 肝臓がん検診従事者講習 会開催等事業費委託金	287	287	0	
(7) 肺がん医療機関検診読影 委員会開催事業費委託金		595	595	0	委託金567千円 +消費税28千円
	1. 肺がん医療機関検診読影 委員会開催事業費委託金	595	595	0	
(8) がん医療情報等 発信事業費委託金		0	2,788	△2,788	平成23年度事業で終了
	1. がん医療情報等 発信事業費委託金	0	2,788	△2,788	
(9) 母子保健推進体制 整備事業費委託金		375	375	0	委託金357千円 +消費税18千円
	1. 母子保健推進体制 整備事業費委託金	375	375	0	
2) 県 負 担 金		3,616	3,616	0	
(1) 事務局強化対策 負担金		3,616	3,616	0	
	1. 事務局強化対策 負担金	3,616	3,616	0	
3) 県 補 助 金		0	3,150	△3,150	
(1) 鳥取県地域医療再生 基金事業補助金		0	3,150	△3,150	平成23年度事業で終了
	1. 鳥取県地域医療再生 基金事業補助金	0	3,150	△3,150	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
2. 保健事業団支出金		20,394	21,900	△1,506	
1) 委 託 金		19,994	21,500	△1,506	
(1) 胃集検読影 事業費委託金		5,718	6,237	△519	@330×16,500件 +消費税273千円
	1. 胃集検読影 事業費委託金	5,718	6,237	△519	
(2) 子宮がん検診 事業費委託金		284	473	△189	最終判定@900×300件 消費税14千円
	1. 子宮がん検診 事業費委託金	284	473	△189	
(3) 肺がん検診 事業費委託金		4,239	4,680	△441	胸部X線読影料 @70×57,000件 細胞診1次@400×50件 最終判定@900×30件 消費税202千円
	1. 肺がん検診 事業費委託金	4,239	4,680	△441	
(4) 乳がん検診 事業費委託金		5,400	5,700	△300	マンモグラフィ読影料 @600×9,000件 (内税261,000円)
	1. 乳がん検診 事業費委託金	5,400	5,700	△300	
(5) 若年者心臓検診 事業費委託金		4,353	4,410	△57	@200×20,728件 +消費税208千円
	1. 心電図判読検査 事業費委託金	4,353	4,410	△57	
2) 補 助 金		400	400	0	
(1) 各専門委員会 連絡調整補助金		400	400	0	
	1. 各専門委員会 連絡調整補助金	400	400	0	
3. 市町村等支出金		15,420	14,580	840	
1) 市町村委託金		15,420	14,580	840	
(1) 肺がん医療機関 検診事業費委託金		8,820	7,980	840	@420×21,000件 (内税420,000円)
	1. 肺がん医療機関 検診事業費委託金	8,820	7,980	840	
(2) 乳がん検診 事業費委託金		6,600	6,600	0	@600×11,000件 (内税319,000円)
	1. 乳がん検診 事業費委託金	6,600	6,600	0	
4. その他委託金		1,161	1,399	△238	
1) 委 託 金		1,161	1,399	△238	
(1) 若年者心臓検診 事業費委託金		294	441	△147	山陰予防医学研究所 @210×1,400件 (内税14,000円)
	1. 心電図判読検査 事業費委託金	294	441	△147	
(2) 胃集検読影 事業費委託金		693	797	△104	中国労働衛生協会 @330×2,000件+消費税33千円
	1. 胃集検読影 事業費委託金	693	797	△104	
(3) 肺がん検診 事業費委託金		114	101	13	中国労働衛生協会 @120×900件+消費税6千円
	1. 肺がん検診 事業費委託金	114	101	13	

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
(4)乳がん検診 事業費委託金		60	60	0	中国労働衛生協会 @600×100件 (内税2,900円)
	1. 乳がん検診 事業費委託金	60	60	0	
5. 県医師会補助金		1,300	1,300	0	
1) 県医師会補助金		1,300	1,300	0	
(1)運営費補助金		1,300	1,300	0	
	1. 運営費補助金	1,300	1,300	0	
6. 寄 付 金		1	1	0	
1) 寄 付 金		1	1	0	
(1)寄 付 金		1	1	0	
	1. 寄 付 金	1	1	0	
7. 諸 収 入		53	8	45	
1) 預 金 利 子		3	8	△5	
(1)預 金 利 子		3	8	△5	
	1. 預 金 利 子	3	8	△5	
2) 労働者保険料 被保険者負担分収入		50	0	50	労働保険料事業主立替分収入
(1)労働者保険料 被保険者負担分収入		50	0	50	
	1. 労働者保険料 被保険者負担分収入	50	0	50	
8. 繰 越 金		2,502	2,096	406	
1) 前年度繰越金		2,502	2,096	406	
(1)前年度繰越金		2,502	2,096	406	
	1. 前 年 度 繰 越 金	2,502	2,096	406	
収 入 合 計		60,784	62,681	△1,897	

〈支出の部〉

(単位：千円)

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
1. 総 務 費		5,165	8,212	△3,047	
1) 会 議 費		807	1,183	△376	
(1)理 事 会 費		807	1,183	△376	
	8. 報 償 費	0	111	△111	
	9. 旅 費	235	235	0	理事会 (1回) 220,000円、車代15,000円

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要														
	11. 需用費	542	797	△255	理事会会議諸費200,000円 新聞購読料36,084円 印刷代280,000円、消耗品費25,916円														
	12. 役務費	30	40	△10	通信運搬費														
2) 各専門委員会 連絡調整費		1,292	1,233	59															
(1) 各専門委員会 連絡調整費		1,292	1,233	59															
	9. 旅 費	790	773	17	総合部会300,000円、一般旅費235,000円 調査研究旅費245,000円、車代10,000円														
	11. 需用費	360	332	28	コピー代78,000円、食糧費24,000円 印刷代180,000円、消耗品費78,000円														
	12. 役務費	142	128	14	電話代89,000円、郵便料53,000円														
3) がん医療情報等 発信事業費		0	2,788	△2,788	平成23年度事業で終了														
(1) がん医療情報等 発信事業費		0	2,788	△2,788															
	11. 需用費	0	2,452	△2,452															
	12. 役務費	0	100	△100															
	13. 委託料	0	236	△236															
4) 給 料		2,316	2,316	0	専従職員1名分														
(1) 給 料		2,316	2,316	0															
	2. 給 料	2,316	2,316	0															
5) 公租公課費		750	692	58															
(1) 公租公課費		750	692	58															
	27. 公租公課費	750	692	58	52,912千円（委託金合計）に係る公租公 課費 公租公課費750,000円 健康対策費のうち以下の項目で公租公課 費を支出 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>※ 胃がん対策費</td> <td>129,000円</td> </tr> <tr> <td>子宮がん対策費</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>肺がん対策費</td> <td>263,000円</td> </tr> <tr> <td>乳がん対策費</td> <td>241,000円</td> </tr> <tr> <td>若年者心臓検診対策費</td> <td>92,000円</td> </tr> <tr> <td>小 計</td> <td>730,000円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,480,000円</td> </tr> </table>	※ 胃がん対策費	129,000円	子宮がん対策費	5,000円	肺がん対策費	263,000円	乳がん対策費	241,000円	若年者心臓検診対策費	92,000円	小 計	730,000円	合 計	1,480,000円
※ 胃がん対策費	129,000円																		
子宮がん対策費	5,000円																		
肺がん対策費	263,000円																		
乳がん対策費	241,000円																		
若年者心臓検診対策費	92,000円																		
小 計	730,000円																		
合 計	1,480,000円																		
2. 健康対策費		55,619	54,469	1,150															
1) がん登録対策費		6,324	1,730	4,594															
(1) がん登録費		6,324	1,730	4,594															
	4. 共 済 費	50	0	50	労働保険料														
	7. 賃 金	4,896	540	4,356	標準化データベースシステム移行整理に 係る登録事務補助員賃金 @800×1,224時間×5人														
	8. 報 償 費	50	0	50	報告書執筆謝金														
	9. 旅 費	313	295	18	専門委員会（1回）136,000円 地域がん登録全国協議会（高知）51,840円 診断票検査旅費120,000円、車代5,160円														
	11. 需用費	615	495	120	印刷代（診断票、封筒等）90,000円 食糧費10,000円 「がん登録事業報告書」印刷代315,000円 会報印刷代60,000円、コピー代40,000円 消耗品費100,000円														

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
	12. 役 務 費	100	100	0	通信運搬費
	13. 委 託 料	300	300	0	コンピュータシステム変更料
2) 胃がん対策費		6,721	7,244	△523	
(1)胃がん対策費		6,721	7,244	△523	
	4. 共 済 費	513	417	96	臨時的任用職員(3人)社会保険料 300,765円 読影委員傷害保険料151,975円 労働保険料60,000円
	7. 賃 金	2,142	2,731	△589	臨時的任用職員3人分賃金(5か月分)
	8. 報 償 費	2,349	2,223	126	講習会講師謝金88,888円 読影謝金@9,278×240人=2,226,720円 胃がん検診発見患者確定調査謝金 33,333円
	9. 旅 費	718	759	△41	専門委員会(2回)320,000円 車代等29,200円 中国四国胃集検の会(松山)248,800円 がん征圧大会40,000円 講習会旅費(1回)80,000円
	11. 需 用 費	510	794	△284	コピー代80,000円、消耗品費52,650円 宿泊代20,000円 食糧費30,000円、会報印刷代80,000円 各地区読影会事務費240,000円 看板作成代7,350円
	12. 役 務 費	140	140	0	通信運搬費100,000円、送金手数料40,000円
	14. 使 用 料	40	40	0	会場借上料
	18. 備品購入費	180	0	180	パソコン購入代金180,000円
	27. 公租公課費	129	140	△11	委託金6,411千円×2.0%=128,220円
3) 子宮がん対策費		800	969	△169	
(1)子宮がん対策費		800	969	△169	
	8. 報 償 費	378	514	△136	講習会講師謝金88,888円 最終判定謝金@850×300件=255,000円 子宮がん検診発見患者確定調査謝金 33,333円
	9. 旅 費	276	306	△30	専門委員会(2回)240,000円 車代10,000円、講習会旅費(1回)26,000円
	11. 需 用 費	91	90	1	コピー代13,000円、食糧費19,650円 宿泊代12,000円 会報印刷代39,000円、看板作成代7,350円
	12. 役 務 費	20	20	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	30	30	0	会場借上料
	27. 公租公課費	5	9	△4	委託金284千円×2.0%=5,680円
4) 肺がん対策費		14,122	13,566	556	
(1)肺がん対策費		13,527	12,971	556	
	4. 共 済 費	380	205	175	臨時的任用職員(3人) 社会保険料、労働保険料
	7. 賃 金	2,262	2,070	192	臨時的任用職員3人分賃金(5か月分)

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要	
(2) 肺がん医療機関検診読影委員会対策費	8. 報 償 費	8,460	8,427	33	講習会講師謝金88,888円 フィルム読影料 @35×57,900件 読影謝金(車検診) @8,247×150人 〃 (医療機関) @8,247×510人 〃 (車検診+医療機関) @10,309×80人 細胞診一次謝金 @350×50件 最終判定謝金 @850×30件 肺がん検診発見患者確定調査謝金33,333円	
	9. 旅 費	487	497	△10	専門委員会(2回)280,000円、車代7,000円 講習会旅費50,000円、打合会旅費150,000円	
	11. 需 用 費	1,385	1,247	138	コピー代81,000円、食糧費30,650円 宿泊代12,000円、印刷代100,000円 消耗品費64,000円、看板作成代7,350円 各地区読影会会場費 @3,000×260回=780,000円 地区医師会事務費310,000円	
	12. 役 務 費	240	220	20	通信運搬費	
	14. 使 用 料	50	50	0	会場借上料	
	27. 公租公課費	263	255	8	委託金13,173千円×2.0% = 263,460円	
			595	595	0	
	8. 報 償 費	111	111	0	医療機関検診従事者講習会講師謝金 111,111円	
	9. 旅 費	330	330	0	肺がん医療機関検診読影委員会(3回) 330,000円	
	11. 需 用 費	112	112	0	コピー代22,000円、会議費45,000円 消耗品費35,000円、印刷代10,000円	
	12. 役 務 費	42	42	0	通信運搬費	
5) 乳がん対策費		12,413	15,763	△3,350		
(1) 乳がん対策費		12,413	12,613	△200		
4. 共 済 費	121	0	121	臨時的任用職員(3人)社会保険料 (2か月分)		
7. 賃 金	857	0	857	臨時的任用職員3人分賃金(2か月分)		
8. 報 償 費	9,370	9,383	△13	講習会講師謝金88,888円 マンモグラフィ読影料 @200×2人×14,100件=5,640,000円 @10,309×350人=3,608,150円 乳がん検診発見患者確定調査33,333円		
9. 旅 費	510	822	△312	専門委員会(2回)230,000円 車代20,000円、講習会旅費60,000円 各地区読影委員会・症例検討会旅費 200,000円		
11. 需 用 費	1,124	1,878	△754	食糧費30,000円、会報印刷代80,000円 消耗品費32,000円、宿泊代12,000円 コピー代50,000円 各地区読影会会場費@4,000×180回 地区医師会事務費200,000円		
12. 役 務 費	150	243	△93	通信運搬費		
14. 使 用 料	40	40	0	会場借上料		
27. 公租公課費	241	247	△6	委託金12,060千円×2.0% = 241,200円		
(2) 鳥取県マンモグラフィ読影講習会及び読影更新講習会開催費		0	3,150	△3,150	平成23年度事業で終了	
8. 報 償 費	0	1,010	△1,010			
9. 旅 費	0	800	△800			

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
	11. 需用費	0	410	△410	
	12. 役務費	0	80	△80	
	14. 使用料及び賃借料	0	850	△850	
6) 大腸がん対策費		570	570	0	
(1) 大腸がん対策費		570	570	0	
	8. 報償費	122	89	33	講習会講師謝金88,888円 大腸がん検診発見患者確定調査謝金 33,333円
	9. 旅費	323	373	△50	専門委員会(2回)280,000円 車代13,000円 講習会及び症例研究会旅費30,000円
	11. 需用費	75	65	10	会報印刷代30,000円、食糧費12,650円 看板作成代7,350円、宿泊代12,000円 コピー代13,000円
	12. 役務費	20	13	7	通信運搬費
	14. 使用料	30	30	0	会場借上料
7) 肝臓がん対策費		537	517	20	
(1) 肝臓がん対策費		537	517	20	
	8. 報償費	122	89	33	講習会講師謝金88,888円 肝臓がん検診発見患者確定調査33,333円
	9. 旅費	255	285	△30	専門委員会(2回)200,000円 講習会及び症例研究会旅費55,000円
	11. 需用費	100	103	△3	会報印刷代30,000円、食糧費10,000円 コピー代35,000円、看板作成代7,350円 消耗品費5,650円、宿泊代12,000円
	12. 役務費	30	30	0	通信運搬費
	14. 使用料	30	10	20	会場借上料
8) がん検診精度確保対策費		2,851	2,795	56	
(1) がん検診精度確保対策費		2,851	2,795	56	
	8. 報償費	925	925	0	講習会講師謝金420,000円 各がん検診症例研究会謝金505,000円
	9. 旅費	700	700	0	各がん検診症例研究会旅費700,000円
	11. 需用費	986	930	56	報告書印刷代660,000円、会議費50,000円 資料印刷代120,000円、消耗品費80,000円 コピー代76,000円
	12. 役務費	200	200	0	通信運搬費
	14. 使用料	40	40	0	会場借上料
9) 若年者心臓検診対策費		4,647	4,851	△204	
(1) 若年者心臓検診対策費		4,647	4,851	△204	
	8. 報償費	3,630	3,785	△155	講習会講師謝金88,888円 心電図判読料@160×22,128件= 3,540,480円

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
	9. 旅 費	410	510	△100	専門委員会（1回）120,000円 車代10,000円、講習会旅費80,000円 若年者心疾患・生活習慣病対策協議会旅費（徳島）200,000円
	11. 需 用 費	425	379	46	消耗品費50,000円、心臓手帳45,000円 食糧費21,370円、会報印刷代30,000円 コピー代50,000円、看板代7,350円 各地区事務費@10×22,128件
	12. 役 務 費	60	50	10	通信運搬費
	14. 使 用 料	30	30	0	会場借上料
	27. 公租公課費	92	97	△5	委託金4,647千円×2.0% = 92,940円
10) 母子保健対策費		475	475	0	
(1) 母子保健対策協議会対策費		475	475	0	
	9. 旅 費	265	265	0	専門委員会（1回）140,000円 車代5,000円、小委員会（2回）120,000円
	11. 需 用 費	140	140	0	消耗品費30,000円、コピー代40,000円 会議費10,000円、会報印刷代60,000円
	12. 役 務 費	50	50	0	通信運搬費
	14. 使 用 料	20	20	0	会場借上料
	11) 県民健康対策費		2,940	2,890	50
(1) 疾病構造調査等研究費		2,940	2,890	50	
	8. 報 償 費	2,500	2,500	0	疾病構造調査研究謝金（5項目） 2,000,000円 母子保健調査研究謝金500,000円
	9. 旅 費	100	100	0	専門委員会（1回）43,340円、車代1,660円 小委員会（1回）55,000円
	11. 需 用 費	270	240	30	報告書印刷製本費130,000円 会議費5,000円、会報印刷代30,000円 コピー代65,000円、消耗品費40,000円
	12. 役 務 費	70	50	20	通信運搬費
	12) 公衆衛生活動対策費		2,627	2,527	100
(1) 地域保健対策費		610	610	0	
	8. 報 償 費	140	140	0	「健康なんでも相談室」原稿料 @5,000×28回
	9. 旅 費	102	102	0	専門委員会（1回）100,000円 車代2,000円
	11. 需 用 費	358	358	0	調査研究に係る諸経費350,000円 食糧費8,000円
	12. 役 務 費	10	10	0	
	(2) 健康教育対策費		1,050	1,017	33
	8. 報 償 費	442	498	△56	健康フォーラム講師謝金（2人） 166,666円 各地区健康教育活動講演会講師謝金 270,000円 保健の窓原稿料@5,000×1回
	9. 旅 費	100	90	10	健康フォーラム講師旅費20,000円 車代10,000円 健康フォーラム関係者旅費40,000円 各地区健康教育活動に係った出席旅費 30,000円

款 項 目	節	予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
(3) 公開健康講座 対 策 費	11. 需用費	392	313	79	宿泊代20,000円、看板代150,000円 消耗品費79,000円、印刷代143,000円
	12. 役務費	66	66	0	通信運搬費
	14. 使用料	50	50	0	会場借上料
		345	315	30	
	8. 報償費	180	180	0	保健の窓原稿料@5,000×12回=60,000円 講師謝金@20,000×6回=120,000円
	9. 旅 費	65	35	30	講師旅費31,540円、司会旅費30,000円 車代3,460円
	11. 需用費	60	60	0	スライド代60,000円
(4) 生活習慣病対策 セミナー対策費	12. 役務費	20	20	0	通信運搬費
	14. 使用料	20	20	0	会場借上料
		622	585	37	
	8. 報償費	300	300	0	保健の窓原稿料@5,000×12回=60,000円 講師謝金@20,000×12回=240,000円
	9. 旅 費	63	30	33	講師旅費33,000円、司会旅費30,000円
	11. 需用費	200	200	0	印刷代80,000円、スライド代120,000円
	12. 役務費	35	35	0	通信運搬費
14. 使用料	24	20	4	会場借上料	
13) 生活習慣病対策費		472	472	0	
(1) 生活習慣病対策費		472	472	0	
14) 地域医療研修及び 健康情報対策費	8. 報償費	89	89	0	講習会講師謝金88,888円
	9. 旅 費	260	260	0	専門委員会(2回)240,000円 車代10,000円、講習会旅費10,000円
	11. 需用費	93	93	0	食糧費20,000円、会報印刷代50,000円 看板作成代7,350円、コピー代15,650円
	12. 役務費	20	20	0	通信運搬費
	14. 使用料	10	10	0	会場借上料
		120	100	20	
	(1) 地域医療研修及び 健康情報対策費		120	100	20
9. 旅 費	80	80	0	専門委員会(1回)、車代	
11. 需用費	30	16	14	食糧費、会報印刷代	
12. 役務費	10	4	6	通信運搬費	
支 出 合 計		60,784	62,681	△1,897	

平成24年度鳥取県健康対策協議会予算の概要

(単位：千円)

事業名	支出予算額	収 入 予 算 額					
		県支出金	事業団支出金	市町村等支出金	その他委託金	医師会補助金	利息その他
1. がん登録対策	6,324	6,169				55	100
2. 胃がん対策	6,721	210	5,718		693		100
3. 子宮がん対策	800	316	284			80	120
4. 肺がん対策	14,122	805	4,239	8,820	114		144
5. 乳がん対策	12,413	253	5,400	6,600	60		100
6. 大腸がん対策	570	250				150	170
7. 肝臓がん対策	537	287				80	170
8. がん検診精度確保対策	2,851	2,771					80
9. 若年者心臓検診対策	4,647		4,353		294		
10. 母子保健対策	475	375					100
11. 県民健康対策	2,940	2,890					50
12. 公衆衛生活動対策	2,627	1,409	400			425	393
13. 生活習慣病対策	472	302				20	150
14. 地域医療研修及び健康情報対策	120					100	20
15. 総務費	5,165	3,916				390	859
合計	60,784	19,953	20,394	15,420	1,161	1,300	2,556

平成24年度鳥取県健康対策協議会会長表彰被表彰候補者名簿

(敬称略)

氏 名	略 歴	功 績 概 要
<p>彦名クリニック 院長 井庭 信幸 (71歳)</p>	<p>平成18.4.1～平成20.3.31 (2年) ・鳥取県健康対策協議会監事 平成20.4.1～平成24.3.31 (4年) ・鳥取県健康対策協議会理事 平成18.4.1～平成22.3.31 (4年) ・子宮がん対策専門委員会委員長 平成4.4.1～平成18.3.31 平成22.4.1～現在 ・子宮がん対策専門委員会委員 平成18.4.1～現在 ・母子保健対策専門委員会委員</p>	<p>多年に亘り本協議会役員並びに専門委員会委員として、子宮がん検診、母子保健対策事業の推進向上に貢献した功績は、極めて顕著である。</p>
<p>前鳥取大学医学部 教授 岸本 拓治 (60歳)</p>	<p>平成10.4.1～現在 ・鳥取県健康対策協議会理事 平成10.4.1～現在 ・がん登録対策専門委員会委員長 平成10.4.1～平成18.3.31 (8年) ・脳卒中登録対策専門委員会委員 平成18.4.1～平成24.3.31 (6年) ・生活習慣病対策専門委員会委員</p>	<p>多年に亘り本協議会役員並びに専門委員会委員長として、がん登録事業の推進向上に貢献した功績は、極めて顕著である。</p>